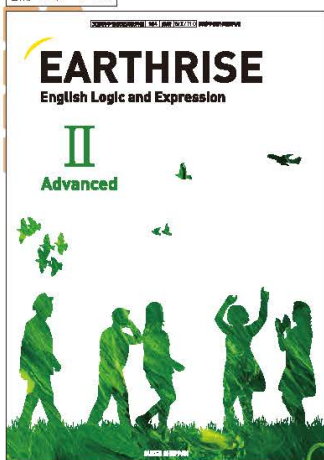
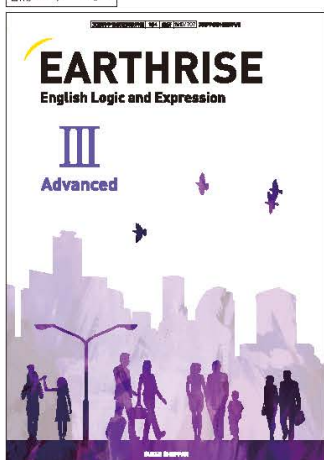


ダイジェスト版

論Ⅱ／710



論Ⅲ／707



教科書

- 1 教科書の特徴
- 3 QRコンテンツ紹介
- ◆ EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced
- 6 CONTENTS
- 8 本書の構成と使い方
- 9 Part 1 Lesson 3 15 Part 3 Lesson 3
- 20 特集ページ（スピーチをしてみよう／ディベートをしてみよう）
- 24 Expressions Plus
- 25 教材配当表
- ◆ EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced
- 26 CONTENTS
- 28 本書の構成と使い方
- 30 Lesson 5 34 Lesson 12
- 38 Further Activities
- 39 教材配当表

教授資料 付属データ

- 40 指導用教材一覧
- 42 TEACHER'S MANUAL（Ⅱ Part 1 Lesson 3）
- 56 Teacher's Book（Ⅱ Part 1 Lesson 3）／（Ⅲ Lesson 5）
- 64 付属 DVD-ROM 収録データ

準拠参考書

- 70 チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語
- 73 EARTHRISE 英文法／EARTHRISE ワーク／EARTHRISE 演習

準拠教材

- 76 活用ノート／ワークブック

デジタル教科書

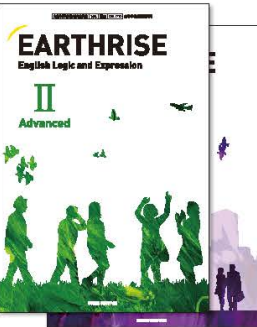
- 82 デジタル教科書



教科書のご案内
サイトはこちら！

重要な表現を学んで、コミュニ

ケーションにいかせる教科書！



EARTHRISE English Logic and Expression II/III Advanced / Standard

Advanced: 論Ⅱ／710 (B5判・128頁) 論Ⅲ／707 (B5判・104頁)
Standard: 論Ⅱ／711 (B5判・128頁) 論Ⅲ／708 (B5判・88頁)

Ⅱ の 特 色

POINT

1 発信のための3領域をバランスよく学習

- ・ Part 1 では文法の復習を、Part 2 では機能表現を学習し、「話す」「書く」というコミュニケーション活動にいかすことができます。
- ・ 『論理・表現Ⅰ』と同様に、Part 1, Part 2 の各レッスンは6 ページ構成で、スピーキング(Let's speak about...)とライティング(Let's write about...)を各見開きで扱っています。

POINT

2 文法・機能表現・パラグラフの展開を学び、論理的なアウトプット活動へ

- ・ Part 1, 2 は、〈モデル文の確認⇒文法・機能表現の学習⇒活動〉をスムーズに行える構成。
- ・ 本課の Basic/Functional Expressions の補足として、巻末の Expressions Plus でさらに文法・機能表現の確認が可能。
- ・ Part 3 では、パラグラフの構成や展開パターンについても学習し、論理的に考え表現する力を身につけます。

POINT

3 資格・検定試験や大学入試を見据えた内容

各資格・検定試験の「話す／書く」問題や、大学入試の英作文に対応するための力を養成。

POINT

4 レベル別の2点発行

Advanced と Standard では、それぞれモデル文の長さやヒントの量などが異なります。
(⇒ p.2 比較表参照)

Ⅲ の 特 色

POINT

1 レベル・タイプ別の2点発行

Advanced と Standard はレベルだけでなく構成も異なります。(⇒ p.2 比較表参照)
→ Advanced は、「メールを書く」や「意見を述べる」といった形式ごとにレッスンを配列した構成です。Standard は、機能表現を復習する Part 1 とパラグラフの展開を学ぶ Part 2 という2パート構成です。

POINT

2 発信のための2技能3領域をバランスよく学習

Ⅱに比べて「書く」活動の割合を増やしつつも、そこに至るまでの過程に「話す」活動を取り入れるなど、2技能3領域をバランスよく鍛えます。

POINT

3 資格・検定試験や大学入試に対応できる内容

- ・ 資格・検定試験の「話す／書く」問題や、大学入試の英作文に対応する力を養成できる内容を扱っています。
- ・ 巻末には Further Activities(Advanced)/Related Activities(Standard)として、本課と関連した題材を扱った特集ページも用意しています。

編集委員紹介 ①現職名 ②専門

T.D. Minton

- ①慶應義塾大学 名誉教授
- ②英語学全般(特に医学英語、実用英文法)

越智 健太郎

- ①恵泉女学園大学 助教
- ②第二言語習得、英語教育学

水戸 直和

- ①新潟県立新津高等学校 教諭

◆編集協力

今井 孝之

果幡中学校・高等学校 講師

芦田 ルリ

- ①元 東京慈恵会医科大学 教授
- ②医学英語、英語教育学

堀口 貫治

- ①芝中学校・芝高等学校 副校長

日浅 彩子

- ①元 桜蔭中学校・高等学校 教諭

坂本 光代

- ①上智大学 教授
- ②バイリンガル教育、英語教育学

松坂 伸彦

- ①芝中学校・芝高等学校 教諭

遠藤 修史

山梨県立甲府第一高等学校 教諭

EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced / Standard の比較

		Advanced	Standard
問題の指示文		英語	英語 + 日本語
図表などの素材		複数の情報を含む写真・図表を掲載	より情報を絞った写真・図表を掲載
活動の支援（ヒント）		Example や Hints の掲載はあるが、全体的に少なめ	Example や Hints, イラストなどを入れ、取り組む際のヒントが多め
Basic [Functional] Expressions		扱う表現・例文・解説は異なる	
Task などの記述量		記述量は比較的多め	カッコや下線部を補充して完成
スピーキング	目標	70 語	50 語
	モデル会話文	110 語	90 語
ライティング	目標	70 ～ 80 語	50 ～ 70 語
	形式	ヒントは少なめで 1 ～ 2 パラグラフを書く	下線部を補充する形式で 1 ～ 2 パラグラフを書く
	モデル文	80 語	60 語

※提示している語数は目安です。スピーキングの目標は発表の際の語数を示しています。

EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced / Standard の比較

		Advanced	Standard
構成 ※（ ）内はレッスン数		5 つの形式をベースにした配列 メールを書く (3) 意見を述べる (3) イラストを説明する (2) 申込書・応募書類を作る (2) 要点を整理する (2)	2 パート構成 Part 1：機能表現の復習 (10) Part 2：パラグラフ展開の学習 (5)
活動の支援（ヒント）		Hints の掲載は全体的に少なめ	Hints の掲載は全体的に多め
素材の語数		100～200 語程度	70～100 語程度
スピーキング（発話の目標語数）		80～110 語	60～80 語程度
ライティング（作文の目標語数）		80～110 語	60～80 語程度

※提示している語数は目安です。スピーキングの語数は発表の際の目標を示しています。

充実の QR コードコンテンツ



サンプルは
こちら！

教科書紙面に掲載している QR コードから、以下の 3 種類のコンテンツにアクセスできます。

収録内容 ※Advanced/Standard 共通

	Ⅱ	Ⅲ
1 本文リスニング (音声再生)	○	○
2 音読練習 (数研発音マスター)	○	○
3 テーマ解説スライド	○	—

1 本文リスニング（音声再生）

教科書の本文や例文の音声を聞くことができます。

Ⅱ：各課「Let's speak about...」の会話文, 「Let's speak about...」 「Let's write about...」の Basic/Functional Expressions

Ⅲ：各課の素材(会話文, メールなど), Listening Quiz, Functional Expressions(Standard)

●主な機能



- 再生方式：通常再生／リピート再生／シャッフル再生 など
 - テキスト表示：スクリプト表示の有無
 - 表示内容：全文表示／パラグラフ表示 など
 - 文字サイズ：大／中／小
- ＊再生内容により、選択できる項目は異なります。

- 3秒戻る
 - 速度調整：0.5倍／0.75倍／0.9倍／1倍／1.1倍／1.2倍／1.3倍／1.4倍／1.5倍／1.75倍／2倍
 - 再生位置：再生位置の確認／手動での再生位置の調整
- ＊スマートフォンの横置き表示にも対応しています。

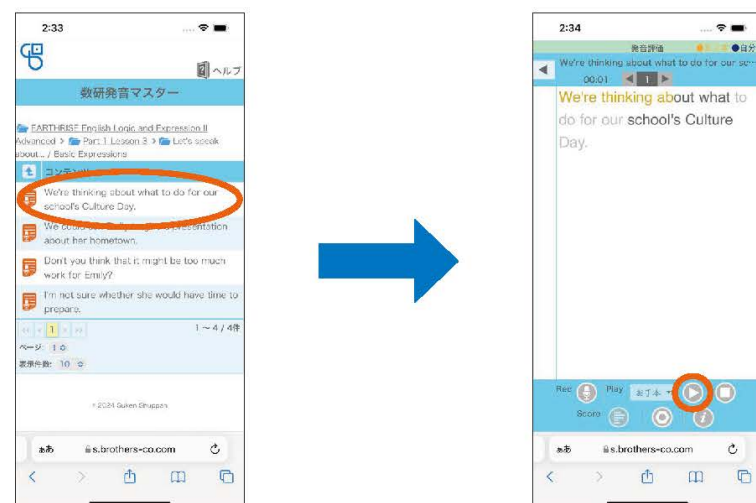
2 音読練習（数研発音マスター）

教科書の本文や例文に関し、自分の発音とお手本音声との一致度を判定できます。

Ⅱ：各課「Let's speak about...」の会話文、「Let's speak about...」「Let's write about...」の Basic/Functional Expressions

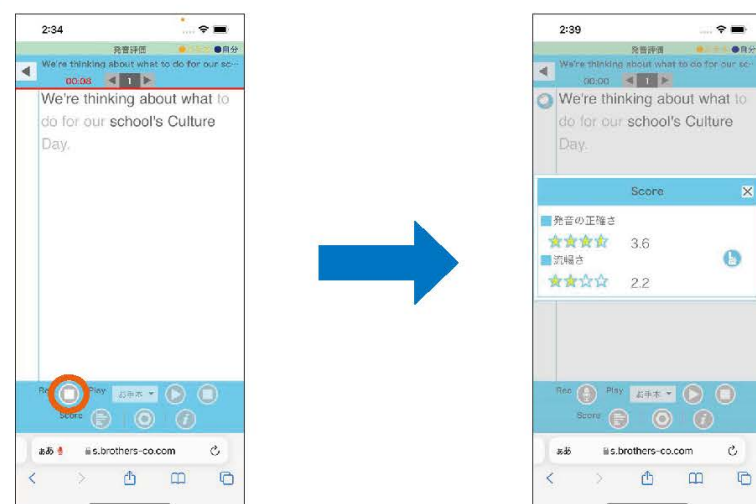
Ⅲ：各課の会話文、Functional Expressions (Standard)

●音声再生



音声を再生したい文を選び、次の画面で Play ボタンを押すとお手本音声再生されます。

●発音判定

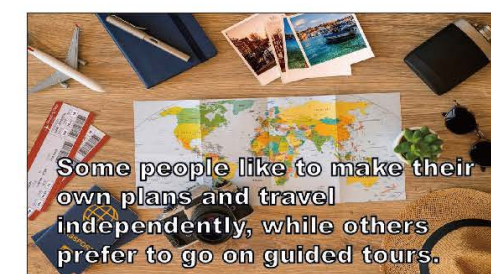
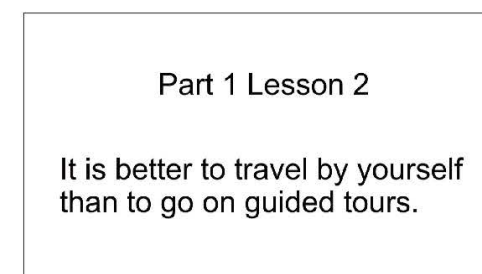


発音判定をする場合は、Rec ボタンを押し、画面の指示に従って音声を録音すると、スコアや発音のポイントが表示されます。

3 テーマ解説スライド（Ⅱ のみ）

教科書各課末の「What do you think?」のテーマに関連するスライド動画を見ることができます。

● Part 1 Lesson 2 のスライド例



CONTENTS

『論理・表現Ⅱ』目次

BE Basic Expressions FE Functional Expressions L Logic pattern T What do you think?

CONTENTS では各
レッスンで扱うトピ
ック・表現など・
What do you think?
の議論のテーマなど
を記載。

Part 1 では表現するための文
法を学びます。

Part 1 Basic Expressions

Lesson 1 Have you ever experienced any cultural differences? 【文化】 9

BE さまざまな主語の形

動名詞・不定詞など

T The best way to learn a new language is to study it in a country where it is spoken.

Lesson 2 Where do you usually buy things? 【買い物】 15

BE さまざまな動詞の形

時制・助動詞など

T What are your tips for shopping online safely?

Lesson 3 International events and cultural exchange 【国際交流・ボランティア】 21 10

BE 名詞のはたらきをする表現

不定詞・that 節など

T Schools should promote volunteer work among students.

Lesson 4 How have you been lately? 【日常生活・将来】 27

BE 形容詞のはたらきをする表現

関係代名詞・分詞など

T You should decide on your career early if you want to succeed in life.

Lesson 5 How do you watch movies and things? 【エンターテインメント】 33

BE 副詞のはたらきをする表現

接続詞・分詞構文など

T Movie theaters will not exist in 20 years.

Part 2 では、気持ちを伝える、
意見を述べるといった場面に
応じた機能表現を学びます。

Part 2 Functional Expressions

Lesson 1 Making life better 【社会・生活】 41 20

FE 感情を表す

T What part of your school would you change to make it meet the principles of universal design?

Lesson 2 Good eating habits 【食習慣】 47

FE 助言する・忠告する／必要・義務を表す

T How do you think we can avoid food shortages?

Lesson 3 Visiting a new place 【旅行】 53

FE 勧誘する・提案する／依頼する

T You should always make a detailed plan before going on a trip.

Lesson 4 Where would you like to live in the future? 【暮らす場所】 59

FE 賛成する／反対する

T Children should be raised in the countryside.

Lesson 5 Which candidate is the right person? 【選挙】 65

FE 意見を述べる／希望を述べる

T Japan was right to lower the age of majority to 18.

Part 3 では、自分の考えなど
を論理的に表現する活動をお
こないます。

Part 3 Express Yourself Logically

Lesson 1 Advertising a language school 【外国語学習】 72

L パラグラフの構成

Lesson 2 Inventions and discoveries 【発明】 78

L 例示・列挙

Lesson 3 How people use their smartphones 【スマートフォン】 84

L 比較・対照

Lesson 4 Our accommodation in Okinawa 【宿泊先の条件】 90

L 原因・結果

Lesson 5 Getting ready for high school exams 【勉強の仕方】 96

L 時間的順序・手順

スピーチをしてみよう…………… 102
プレゼンテーションをしてみよう…………… 104
ディベートをしてみよう…………… 106
ディスカッションをしてみよう…………… 108
Expressions Plus…………… 110
Useful Expressions…………… 120
Check list 自己評価表…………… 127

教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレットPCやスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報*にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。[URL:https://www.chart.co.jp/qr/22ea2/]

*Model Dialog, Basic Expressions, Functional Expressions の音声、音読練習ツール、What do you think? のテーマ解説スライドをご用意しています。



本書の構成と使い方

『論理・表現Ⅱ』

Part 1 Part 2

導入

CAN-DO 各課で達成すべき目標を3領域に分けて提示しています。

Before you start... 写真描写などのリスニング問題と、簡単な自己表現活動です。

Let's speak about...

Model Dialog 二次元コードから会話文の音声の再生と音読練習ができます。

Listening Quiz 会話文の内容に関する簡単なリスニング問題です。

Basic Expressions 会話文の中で使われている重要表現の解説です。

Functional Expressions 会話文の内容を整理して確認する活動です。

Task 1 会話文を参考に、重要表現などを使い自己表現をする活動です。

Task 2 会話文を参考に、重要表現などを使い自己表現をする活動です。

Goal **Task 2** の内容をもとに、発表・やりとりを行う活動です。

Check list 3つの観点から、**Goal** で発表・やりとりをした内容を自己評価します。

TRY **Check list** の項目の評価基準は p.127 に掲載しています。

TRY トピックに関連した、やや発展的な自己表現活動です。

Let's write about...

Listening Quiz モデル文への導入となるリスニング問題です。

Model Passage メール、ブログ、スピーチ原稿などの形式の文章を扱います。

Task 1 モデル文を構造・内容の観点から確認する活動です。

Basic Expressions モデル文の中で使われている重要表現の解説です。

Functional Expressions モデル文の中で使われている重要表現の解説です。

Task 2 自分でまとめた文章を書くための準備の活動です。

Goal **Task 2** の内容をもとに、まとめた文章を書く活動です。

Check list 3つの観点から、**Goal** で書いた内容を自己評価します。**Check list** の項目の評価基準は p.127 に掲載しています。

TRY 書いた内容をもとに、発表・やりとりを行う活動です。

課末

What do you think? ディベートやディスカッションにつながる活動です。二次元コードから、議論の導入となるテーマ解説スライドを見ることが出来ます。また、関連するSDGs(Sustainable Development Goals)のアイコンも掲載しています。

CAN-DO Self-review 学習内容の到達度を確認できるチェックリストです。

Part 3

Part 3 では、パラグラフの構成と展開パターンを学習し、一貫性のある論理的なパラグラフを書く練習をします。**Extra Activity** では、グラフやイラストを用いた問題などに挑戦してみましょう。

巻末

Expressions Plus 各課の重要表現のまとめです。

Useful Expressions 各課のトピックに関連した語句の一覧です。

■アイコン記号

🎧 : リスニング

🕒 40 seconds : 発表の目安時間

Part 1

Lesson 3

『論理・表現Ⅱ』本課レッスン

International events and cultural exchange

『論理・表現Ⅰ』と同じ構成で学習を始められます。

CAN-DO

A. Speak (Interaction)

Tell your partner about your school's Culture Day. You can use some of the expressions in the **Basic Expressions** section to help you.

B. Speak (Presentation)

Give a 40-second presentation to the class about your school's Culture Day.

C. Write

Write a personal statement of about 80 words as part of a volunteer activity application. You can use some of the expressions in the **Basic Expressions** section to help you.

CAN-DO で3領域の目標を確認します。






Before you start...

1. Listen to the statements. Match the countries below with the photos.

a. Indonesia b. Kenya c. Colombia d. Turkey

Q1 _____ Q2 _____ Q3 _____ Q4 _____

2. Which of the products would you like to buy most?

No. _____



Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

さまざまな写真や資料から情報を
読み取り、表現活動につなげます。

Minami High School Culture Day

An opportunity
for students to
get together for
cultural exchange



June 8th
11:00 a.m. – 3:30 p.m.
Meeting room 2

- ☐ ask the exchange students to give presentations about their countries
- ☐ teach everyone how to make *origami*
- ☐ show the exchange students how to use traditional Japanese toys
- ☐ make some Japanese food
- ☐ have an anime-viewing session
- ☐ wear *yukata*

Nana: Hi, Ken. We're thinking about **what to do for our school's Culture Day**. Do you have any good ideas?

Ken: Well, we could ask Emily **to give a presentation about her hometown**. That would be interesting.

Mr. Jones: Yes, but don't you think **that it might be too much work for her**? I'm not sure **whether she would have time to prepare**.

Ken: How about doing something together, like cooking, then?

Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.

Basic / Functional Expressions: *okonomiyaki*! Let's do that.

Part 1 では文法の復習を, Part 2 では機能表現を取り上げています。

Listening Quiz Q1. ____ Q2. ____

★ Basic Expressions

- We're thinking about **what to do for our school's Culture Day**. (I.3)
⇒ 「何をすべきか」は **what to do** で表すことができる。think about の目的語 (O) になっている。
- We could ask Emily **to give a presentation about her hometown**. (I.5)
⇒ **to do** は「～すること」。「O に～するように頼む」は〈ask + O + to do〉で表す。
- Don't you think **that it might be too much work for Emily**? (I.7)
⇒ 「S が～すること」を表すのに **that** を用い、そのあとに **SV** を続ける。
- I'm not sure **whether she would have time to prepare**. (I.8)
⇒ 「S が～するかどうか」を表すのに **whether** を用い、そのあとに **SV** を続ける。

See page 112 Expressions Plus

Task 1 Read the dialog on p. 22, and fill in the chart.

① What is Ken's first suggestion?	He suggests asking
② What does Mr. Jones think of Ken's first suggestion?	He thinks
③ What does Nana say they'll need to do?	She says

Task 2 Answer the questions below. Then practice asking and answering them with your partner.

Q1 What would you like to do for your school's Culture Day?



Q2 What would you do in the activity you suggested?



Q3 Why did you suggest this activity?



Task 2 と Goal では、ペアワークと 40 秒程度の発表、またはロールプレイの実演をおこないます。

Goal Interaction/Presentation (⇒ pp.102-103)



Tell the class about what you wrote in **Task 2**. Other students should ask questions.

Example

For our Culture Day, I'd like to have an *origami* workshop. I think that *origami* is a great activity that everyone can enjoy. I'd bring some beautiful paper from home and show everyone how to make *origami*. I'm pretty good at making things with paper, and I'd love to teach our exchange students how to do it. It would be fun to display their *origami* afterwards.

Check list

☐ Accuracy ☐ Structure ☐ Content (⇒ p.127)

TRY What school event do you look forward to most? Why?

Listen to the dialog between Ken and Meg, and read Ken's application to take part in a volunteer activity.

さまざまなタイプのモデル文を読み、場面に応じたライティング活動が可能です。

Listening Quiz Q1. ____ Q2. ____

We're looking for volunteers to assist international visitors at the international cultural festival.

Name **Tanaka Ken**

I am a student at Minami High School, and I would like to volunteer to assist visitors at the city's international cultural festival. I have been studying English for six years now. I'm not fluent, but I make a point of **listening to English podcasts every day** to improve my English. **What I want to do most** is communicate with a lot of people from abroad.

Please let me know if you need any more information about me. Thank you for considering my application.

Task 1 Analyze the passage.

Overview

- What is the main topic of this passage?

Contents

- (1) What kind of volunteer activity does Ken want to do?

- (2) What does Ken do to improve his English?

- (3) What does Ken want to do most?

★ ★ Basic Expressions

- I make a point of **listening to English podcasts every day**. (I.9)

⇒ 「決まって～する、～することになっている」は make a point of *doing* を使い、意識的に行っていることを表す。of のあとは動名詞が来る。

- What I want to do most** is communicate with a lot of people from abroad. (I.10)

⇒ 「S が～すること [もの]」は **what** を用いて 〈what + S + V〉で表すことができる。What ～ most までは文の主語にあたり、(to) communicate ～ abroad は文の補語 (C) になっている。to は省略されることが多い。

▶ All you have to do is answer a few questions. 「君はただ2,3の質問に答えるだけでよい」

See page 112 Expressions Plus

Task 2 Imagine you are going to apply to take part in a volunteer activity. Fill in the chart with your answers to the questions.

① What kind of volunteer work would you like to do?	I _____
② Why would you like to do that kind of volunteer work?	_____
③ What are the advantages of the volunteer work you selected?	_____
④ Why do you think you are suitable for the volunteer work you selected?	_____

- Hints** ① coach / city guide / sports festival for children / ...
 ③ meet many people around the world / broaden your mind
 ④ language skills / volunteer experience / interest in ...

Goal では、各レッスンのテーマに沿って、80 語程度で、1～2 パラグラフの文章を書く練習をします。

Goal Writing

Use the above notes to write a personal statement for the volunteer application in about 80 words.

I am a student at _____, and I would like to _____

Check list

☐ Accuracy ☐ Structure ☐ Content (⇒ p.127)

TRY Take turns reading your passages aloud. Other students should ask questions.



What do you think?

1 Do you agree with the following opinion?

Schools should promote volunteer work among students.

☐ Yes ☐ No

2 Why or why not?

3 Share your opinions with your partner.



I agree. Even though many students are interested in working as volunteers, they often do not know where to start...

I disagree. The main responsibility of schools is not to get their students...

What do you think?:

ディベートやディスカッションにつながる活動。QRコードからは、スライドショー(音声付き静止画映像)を見られます。

the advantages of volunteering



- contribute to society
- see the world differently
- help you find what you want to do
- strong sense of responsibility
- opportunities to meet new people

- 社会に貢献する
- 違った見方で世界を見る
- 何がしたいのかを見つけるのに役立つ
- 強い責任感
- 新しい人々に会う機会

Agree — do not know where to start / promote good and safe volunteer work / choose the best program for you / ask your teacher for advice / useful for getting into university / etc.

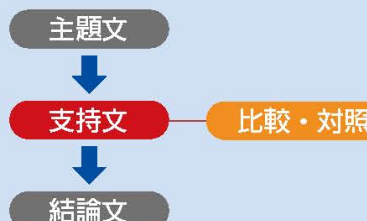
Disagree — not the school's responsibility / find information on the Internet / do not need to rely on schools for information / students should focus on studying / teachers are too busy / etc.

CAN-DO Self-review

	Excellent (^o^)	Good (^_^)	Need to improve (>_<)
A. Speak (Interaction)	自分の考えや情報を Basic Expressions を参考に表現し、パートナーと伝え合うことができた。	パートナーと自分の考えや情報を伝え合うことはできたが、 Basic Expressions を参考に表現することができなかった。	パートナーと自分の考えや情報を伝え合うことができず、 Basic Expressions を参考に表現をすることもできなかった。
B. Speak (Presentation)	約 40 秒で適切にプレゼンテーションをすることができた。	プレゼンテーションはできたが、時間が長すぎた、または短すぎた。	約 40 秒で適切にプレゼンテーションをすることができなかった。
C. Write	Basic Expressions を参考に表現し、約 80 語でボランティアの申し込みフォームに自分のことを書くことができた。	約 80 語で自分のことを書くことはできたが、 Basic Expressions を参考に表現することができなかった。 / Basic Expressions を参考に表現できたが、語数が多すぎた、または少なすぎた。	約 80 語で自分のことを書くことができず、 Basic Expressions を参考に表現することもできなかった。

Check the Logic Patterns ③

Comparison / Contrast



複数のことがらを比べ、その共通点や類似点を示す支持文の展開パターンを「比較 (Comparison)」といい、相違点を示す支持文の展開パターンを「対照 (Contrast)」という。(→ p.4)

Part 3 では、パラグラフの構成や展開パターンを学習します。一貫性のある論理的な文章を書くことを目標にしています。

Example 1

Tokyo has a large population. **Similarly**, New York is a big populous city.

比較

similarly は「同様に」と、共通する内容を比較するときに用いられる表現。「人口が多い」という、東京とニューヨークの共通点を述べている。

Example 2

In the mid to late 20th century, the world got warmer **as** global CO₂ emissions increased.

ここでの接続詞 as は、「～するのにもなって…」を表す。この文は CO₂ 排出量の増加と地球温暖化の 2 つの出来事を照らし合わせ、それが同時に進行したことを示している。

Example 3

Unlike in most areas of Japan, there is no rainy season where I live.

対照

前置詞 unlike は、「～とは違って…」を表す。ここでは梅雨の時期の有無について、「日本の多くの地域」と「私の地元」を対比している。

「比較・対照」を表す語(句)としては、以下のようなものがある。

比較 (Comparison):

like, just as, both A and B, have ~ in common, comparing, similarly, as, etc.

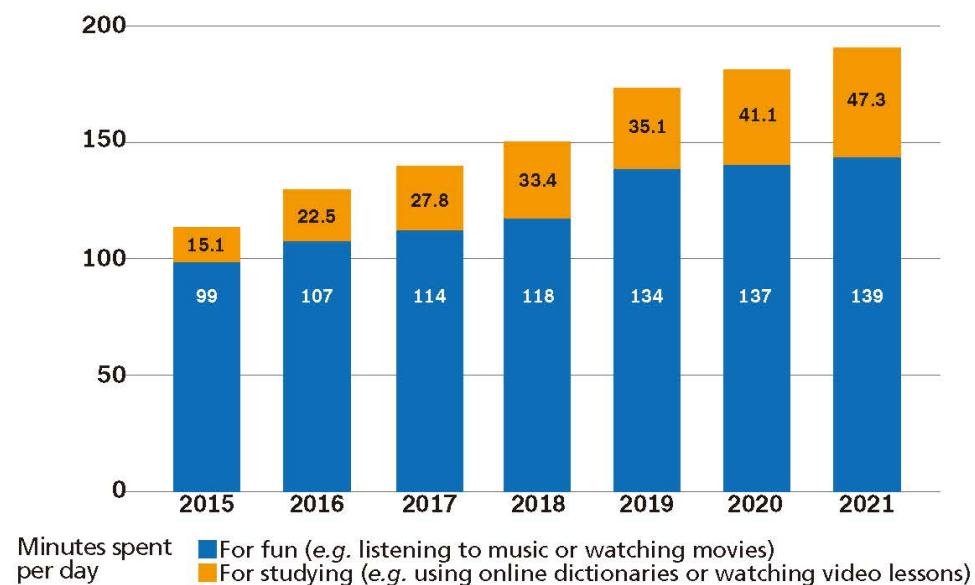
対照 (Contrast):

unlike, instead, however, on the other hand, while, although, whereas, etc.

Look at the graph and read Ken's presentation

グラフや写真を使った資料：資料の内容を読み取り、モデル文を確認し、その後の表現活動にいかします！

Average time in minutes spent daily by each M on smartphones for fun and studying



Ken's Presentation

While many adults use their smartphones mainly for communication, high school students use theirs not only for communication but also for fun activities and studying. The chart here shows how many minutes on average each student at Minami High School spent per day on smartphones for fun and studying between 2015 and 2021. As you can see, their use of smartphones for **both** purposes has been increasing over the past few years.



Listening Quiz Q1. ____ Q2. ____

Task 1 Read Ken's presentation on p. 86, and fill in

Adults use their smartphones mainly for _____.
school students use theirs for _____ and _____ as well. According to the chart, the amount of time students spend on their smartphones for both purposes has been _____ year by year.

Task 2 Work in pairs or groups. Answer the questions below, and share your ideas with your classmates.

1. How do you usually use your smartphone?

For fun activities	<input type="checkbox"/> <i>e.g. I often visit video sites and watch music videos.</i>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
For studying	<input type="checkbox"/> <i>e.g. I use my smartphone as a stopwatch when I do my math homework.</i>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

2. List some of the advantages and disadvantages of allowing smartphone use during high school lessons.

Advantages	Disadvantages
<input type="checkbox"/> <i>e.g. Students can take photos of what the teacher writes on the board.</i>	<input type="checkbox"/> <i>e.g. Some students' phones may ring in class and distract their classmates.</i>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



Express Yourself Logically

Task 3 Do you think smartphones should be allowed in high school classrooms? Write your ideas in the chart below.

① State your opinion.	<i>e.g. I don't think...</i>
② Give a reason for your opinion.	<i>e.g. Students may use their smartphones to look up answers to the teacher's questions.</i>
③ Give another supporting idea, or expand the idea you just stated.	<i>e.g. By regularly relying on their phones in class, students may forget how to think for themselves.</i>
④ Write a concluding statement.	<i>e.g. Teachers should ban smartphone use in high school classrooms.</i>

Hints Task 2 で挙げた「スマートフォンを楽しむために使う場合・勉強のために使う場合」、また、「スマートフォンを授業中に使うことの利点・欠点」を比べながら論点を挙げてみよう。

Goal Writing

Goal では、Task 2, 3 で話したり書いたりしたことを使ってまとめた文章を書きます。

Do you think smartphones should be allowed in high school classrooms? Why or why not? Use 70 to 90 words to express your opinions.

Hints like, just as などの「比較」のつなぎ表現や unlike, although などの「対照」のつなぎ表現を適宜、効果的に用いることに注意して書いてみよう。

TRY Give a presentation about whether smartphones should be allowed in high school classrooms. Other students should ask questions. **1 minute**

Self-review

	Excellent (^^)v	Good (^_^)	Need to improve (>_<)
A. Speak (Interaction)	自分の考えや情報を具体例や利点・欠点などとともにパートナーと伝え合うことができた。	パートナーと自分の考えや情報を伝え合うことはできたが、十分な具体例や利点・欠点などを述べるができなかった。	パートナーと自分の考えや情報を伝え合うことができず、具体例や利点・欠点などを述べることもできなかった。
B. Speak (Presentation)	約 1 分で適切にプレゼンテーションをすることができた。	プレゼンテーションはできたが、時間が長すぎた、または短すぎた。	約 1 分で適切にプレゼンテーションをすることができなかった。
C. Write	適切なつなぎ表現を使って、70-90 語で文章を書くことができた。	70-90 語で文章を書くことはできたが、適切なつなぎ表現を使えなかった。／適切なつなぎ表現は使えたが、語数が多すぎた、または少なすぎた。	70-90 語で文章を書くことができず、適切なつなぎ表現も使えなかった。

Extra Activity : 自分の意見を述べる問題やイラストを描写する問題

Do you think attending face-to-face lessons in a classroom is better than watching online lessons at home? Why or why not? Write 60 to 80 words.



Hints discuss things directly / study in a group / help other students / work at one's own speed / study on one's own

Speech

スピーチをしてみよう

①スピーチとは？

スピーチ(演説)とは、1人の話し手が、自分の経験や伝えたいこと、自分の考えを聴衆に訴え、共感してもらうことが主目的です。

②スピーチの構成

スピーチはIntroduction, Body, Conclusionの3部構成になります。

1. Introduction: まず、出だしで聴衆の関心を集めます。

【例】(1) 聴衆に質問を投げかけてみる、(2) 統計などの数字を使って話題をイメージしやすくする、(3) 自分の話題と関連する偉人の名言などを引用する、(4) 自分の実体験(エピソード)の一例を共有するなど

Introductionではほかに、自分が今から何について語るのかを簡単に説明します。

2. Body: 伝えたいテーマについて説明していくのですが、テーマについてのアイデアを関連づけるのに役立つのがつなぎ言葉です。必ずしも必要ではありませんが、関連性を示すには、FurthermoreやMoreover、Also、First、Second、...Lastly、対立性を強調したければIn contrastやHoweverなどを使うことで、聴衆はトピック間の関係を把握しやすくなります。流れがなければバラバラな内容がただ適当に羅列されている印象となってしまう、聴衆は混乱してしまいます。

3. Conclusion: 内容はIntroductionと近いものとなりますが、テーマについての内容が語られたあとなので、「まとめ」の要素が強調されます。In sumやIn conclusionのような表現で始めてもよいでしょう。メッセージ性があり、余韻が残るような内容を書いてみましょう。

③スピーチの準備

1. ブレインストーミング

まず何について話すかを決めます。最初から1つに限定せず、さまざまなアイデアを自由に検討してみましょう。これをブレインストーミングといいます。アイデアを出し切ったら、その中で自分にとって一番重要・身近な題材、訴えたいテーマはどれかを考えて1つ選びましょう。

2. アウトライン

選んだ題材(話題)について、何を語りたいのでしょうか。それを1つ1つ箇条書きにしてみましょう。最初は思いつくままに書いてみて、書き終わったら順番を調整します。一番訴えたいことは最も印象に残るように、最後(Conclusion)に残します。まずは要点から始め、それに関連するものを次に持ってくる、といった流れを作るように工夫します。この箇条書きが、いわばスピーチのための設計図で、アウトラインと呼びます。

特集ページとして、「スピーチ」「プレゼンテーション」「ディベート」「ディスカッション」について取り上げています。各活動のやりかたやポイントを解説しています。

3. スピーチ原稿の作成

アウトラインに基づいて、実際に原稿を作成します。より具体的な内容になるように、構成を考えながらつなぎ言葉などを使い、文の長さや文法に注意します。

④スピーチの具体例

Should high school students work part-time?

I know that many people think high school students should focus on their studies and not take part-time jobs. However, I would like to give you three good reasons why working part-time while you are in high school is beneficial.

First, part-time work gives you a sense of responsibility. You receive payment for the work you do, so you are responsible for doing it properly. Second, managing the money you earn is an important life skill, and acquiring it before you become an adult is a great advantage. And lastly, having a part-time job gives you opportunities to meet different people from different backgrounds. In turn, this gives you a broader perspective on life.

I'm not saying that working is more important than studying, of course, but I do think that spending a few hours a week working part-time teaches you some valuable lessons that schools can't provide. It can certainly make you a more independent and responsible person.

⑤スピーチをする際の留意点

- ・ **話し方:** 短い文やゆっくりめのテンポなどはそれなりの効果がありますが、多用すればその効果は薄れるため、ここぞという大事な時に使います。メリハリが利いたスピーチは聴衆を飽きさせません。
- ・ **声:** スピーチは基本的には大きな声で、ハキハキと発表しましょう。
- ・ **アイコンタクト:** スピーチではできるだけ原稿を読まず、自分の言葉で表現し、聴衆を見て力強く語りかけます。
- ・ **姿勢:** 堂々と真っ直ぐ立ちましょう。ウロウロしたり、聴衆の視線を避けたりすると、聴衆の集中力を下げてしまいます。

Task 以下のテーマについて原稿を書き、スピーチをしてみよう。

テーマ: 個性は制服によって制限されるか

Hints uniforms / individuality / express ourselves / represent / characteristics / be the same

「スピーチをしてみよう」のページでは、スピーチの具体例も示しています。

Debate

ディベートをしてみよう

①ディベートとは？

ディベートとは、あるテーマについて肯定側と否定側の2チームが決められた時間や役割、順番で主張や質疑をし、最終的に審判がより説得力のあった方を勝ちとする試合形式の議論です。ディベートの論題 (Proposition) には、例として以下のようなものがあります。

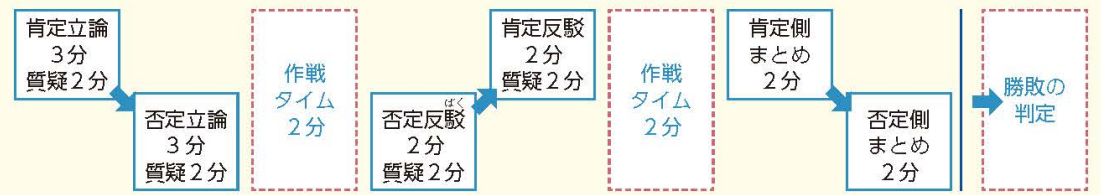
- ・ High school students should be banned from working part-time. (高校生のアルバイトは禁止すべきだ)
- ・ The voting age should be lowered to 16. (選挙権年齢は、16歳以上に引き下げられるべきだ)

②ディベートの構成員と役割

司会者：ルールに従ってディベートを進める。
討論者：肯定側 (Affirmative side) と否定側 (Negative side) に分かれて実際にディベートを行う。
タイムキーパー：進行時間を管理する。
審判：肯定側・否定側のどちらの主張がより説得力があったか判断

ディベートの流れを確認できます。

③ディベートの流れ



④立論 (Constructive Speech) の例

論題 (Proposition): Robots will replace all human workers within the next couple of decades.

【肯定側の立論 (Affirmative Constructive Speech)】

We strongly believe that robots will indeed replace all human workers in the near future.

The first reason is that technological innovation is taking place at an amazing speed, and robots can now do many things that people in the past would have never dreamed of. They can understand human language, for example, and they can even fly planes. Looking back on the rapid pace of innovations that have already taken place in the robotic industry, we can easily imagine that robots will continue to develop at the same speed, and that they will soon be doing all the jobs humans are doing now.

The second reason we believe robots will soon replace human workers is cost. I'm sure we can all agree that the more automated a business is, the smaller its operating

costs will be. Innovation in robots makes it possible for companies to reduce the number of people they employ, thus making their business more profitable.

There is no doubt that highly automated businesses will become increasingly common from now on, and that robots will replace all human workers within the next couple of decades.

【否定側の立論 (Negative Constructive Speech)】

We firmly believe there is no way that robots will replace all human workers anytime soon.

First, the affirmative side said that robots are sure to continue developing rapidly, as they have in the past. We don't agree. Remember that robots are a product of human inventiveness. There may well be talented scientists who have the ability to keep coming up with new and improved robots, but there is no guarantee that governments or organizations will continue to support them financially.

Second, using robots and other kinds of industrial automation to cut costs has a terrible effect on the job market, and those who find themselves out of work as a result will not put up with it.

In any case, if people have no jobs, they will also have no money to buy products produced by the robots that replaced them, so it is obvious that no such replacement will happen!

評価方法の例も示しています。

⑤ディベートの評価方法の例

評価項目	肯定側	否定側
立論 (Constructive Speech) ■論理の展開 ■資料の提示 ■メリット/デメリットの大きさ ■発表のしかた	/10	/10
質疑 (Questions) ■質疑・応答の内容 ■質疑・応答のしかた	/10	/10
反論 (Rebuttal Speech) ■反論・反駁の内容 ■説得力 ■資料の提示	/10	/10
総括 (Summary) ■論拠の立て直し ■論拠の重要度・深刻度	/10	/10
勝者：【 】側 理由		

Task

以下の論題について、ディベートをしてみよう。

論題 (Proposition) : **Zoos should be banned.**

意見の例：

- 肯定側：(動物による)飼育員への危害、動物捕獲による環境への影響、動物園の生育環境の実態
- 否定側：環境や生き物について学び、研究する場、動物保護や種の保存機能、既存の動物園のもつ経済効果、観光価値

課	タイトル	学習事項	時間数
	はじめに	パラグラフの展開パターン	2
Part 1 : Basic Expressions (文法の復習)			
1	Have you ever experienced any cultural differences? 【文化】	さまざまな主語の形	3
2	Where do you usually buy things? 【買い物】	さまざまな動詞の形	3
3	International events and cultural exchange 【国際交流・ボランティア】	名詞のはたらきをする表現	3
4	How have you been lately? 【日常生活・将来】	形容詞のはたらきをする表現	3
5	How do you watch movies and things? 【エンターテインメント】	副詞のはたらきをする表現	3
Part 2 : Functional Expressions (機能表現)			
1	Making life better 【社会・生活】	感情を表す	3
2	Good eating habits 【食習慣】	助言する・忠告する／必要・義務を表す	3
3	Visiting a new place 【旅行】	勧誘する・提案する／依頼する	3
4	Where would you like to live in the future? 【暮らす場所】	賛成する／反対する	3
5	Which candidate is the right person? 【選挙】	意見を述べる／希望を述べる	3
Part 3 : Express Yourself Logically (論理的な自己表現活動)			
1	Advertising a language school 【外国語学習】	パラグラフの構成	3
2	Inventions and discoveries 【発明】	例示・列挙	3
3	How people use their smartphones 【スマートフォン】	比較・対照	3
4	Our accommodation in Okinawa 【宿泊先の条件】	原因・結果	3
5	Getting ready for high school exams 【勉強の仕方】	時間的順序・手順	3
	スピーチをしてみよう		2
	プレゼンテーションをしてみよう		2
	ディベートをしてみよう		2
	ディスカッションをしてみよう		2

1 「～すること」を表す to do と doing

① We decided **to hold a surprise party for Nick**.

私たちはニックのためにサプライズ

② I finished **writing my report** last weekend.

先週末にレポートを書き終えました。

③ We could ask Emily **to give a presentation about her hometown**.

私たちはエミリーに故郷について発表してもらうよう依頼できるかもしれません。⇒ BE p. 22

④ I make a point of **listening to English podcasts every day**.

私は毎日英語のポッドキャストを聞くようにしています。⇒ BE p. 24

→ 「～すること」は to do (不定詞) で表すことができる。to do は主語・補語・目的語になることができるが、to do を目的語にする動詞は主に、want, hope, decide, plan などがある。また、〈S + V + O + to do〉の形で使うこともある。

→ 「～すること」は doing (動名詞) でも表すことができる。doing は主語・補語・目的語になることができるが、doing を目的語にする動詞は主に、enjoy, finish, stop, suggest などがある。また、doing は、前置詞の目的語になることもできる。

2 「何を～すべきか」などを表す

what to do など

⑤ We're thinking about **what to do for our school's Culture Day**.

私たちは学校の文化の日に関何をすべきか考えています。⇒ BE p. 22

⑥ Could you show me **how to use this computer**?

このコンピュータの使い方を教えてくださいませんか？

→ 「何を～すべきか」は what to do で表すことができる。同様に、「どこで [に] ～すべきか」where to do, 「いつ～すべきか」when to do, 「どのように [に] ～すべきか」how to do と表すことができる。

3 「～するということ」「～するかどうか」などを表す

that / whether など

⑦ Don't you think **that it might be too much work for Emily**?

それはエミリーにとって大変な作業かもしれないと思いませんか。⇒ BE p. 22

⑧ I'm not sure **whether she would have time to prepare**.

彼女に準備する時間があるかどうか分かりません。⇒ BE p. 22

⑨ I don't know **where Sally is from**.

サリーがどこ出身なのかを知りません。

→ 「S が～すること」は 〈that + S + V〉で表すことができる。

→ 「S が～するかどうか」は 〈whether + S + V〉で表すことができる。

→ 「S がどこで [に] ～するか」は 〈where + S + V〉で表す。疑問詞を使って 1 つの名詞のように使うことができる。

4 「～すること [もの]」を表す

what

⑩ **What I want to do most** is (to) communicate with a lot of people from abroad.

私が一番したいことは、海外から来たたくさんの人々とコミュニケーションをとることです。

⇒ BE p. 24

→ 「～すること [もの]」は what のあとに「～する」の部分を続けて表せる。〈what (+ S) + V〉で 1 つの名詞のように使うことができる。

Expressions Plus : 各レッスンの Basic / Functional Expressions に関連する事項をまとめています。英語でのアウトプット活動に役立つ内容になっています。

CONTENTS

『論理・表現Ⅲ』目次

CONTENTS には、扱う形式と各レッスンのトピック及びジャンルを示しています。

SDGs の 17 のゴールに関するレッスンにはアイコンを掲載しています。

はじめに	4
本書の構成と使い方	14
メールを書く	
形式解説①	16
Lesson 1 Coming to Japan [Travel]	18
Lesson 2 Online shopping [Shopping]	22
Lesson 3 Preparing to study abroad [Education]	26
意見を述べる	
形式解説②	30
Lesson 4 24-hour stores [Economy]	32
Lesson 5 Smart agriculture [Agriculture]	36
Lesson 6 Aiman, the household robot [Technology]	40
イラストを説明する	
形式解説③	44
Lesson 7 Recipes [Food]	46
Lesson 8 A helping hand [Society]	50



Sustainable Development Goals (SDGs) とは、持続可能な世界を実現するために国連が定めた国際目標で、17 のゴールで構成されています。本書では、目次で、関連する Lesson に SDGs の目標のアイコンを掲載しています。

申込書・応募書類を作る

形式解説④	54
Lesson 9 International Science Fair [Science]	56
Lesson 10 Future career plans [Career]	60
要点を整理する	
形式解説⑤	64
Lesson 11 Media reliability [Media]	66
Lesson 12 Garbage problems [Environment]	70
Speech & Presentation	74
Discussion	76
Debate	78
Further Activities	82
Useful Expressions	94
Glossary	98
Listening Quiz Scripts	101
ルーブリック (評価基準表)	103

教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレット PC やスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報* にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。[URL:<https://www.chart.co.jp/qr/22ea3/>]

*各課素材の音声と音読練習ツール、各課の Listening Quiz の音声をご用意しています。



本書の構成と使い方

『論理・表現Ⅲ』

構成要素の説明と使い方を示しています。

導 入

CAN-DO 各課で達成すべき目標を3領域に分けて提示しています。活動に取り組む前に確認しましょう。**A.Speak (Interaction)** は **Task 2** に、**B.Speak (Presentation)** は **TRY** に、**C.Write** は **Task 4** にそれぞれ対応しています。

Listening Quiz 各課のトピックに関するリスニング問題です。導入の活動として取り組みましょう。

本 課

Task 1 会話やメールなどの素材の内容を整理・確認する活動です。素材を正確に理解しているか確認しましょう。

Task 2 質問や論題に対する自分の意見や考えを書いたり述べたりする活動です。自分の考えをまとめたあとで、クラスメートと共有しましょう。

Task 3 自分の意見や考えを書くための準備の活動です。素材の内容を読んで、自分が書く文章をイメージしましょう。また、クラスメートと情報を共有し、どのような文章を書くかメモを作成しましょう。

Task 4 **Task 3** で作成したメモを活用して、まとめた文章を書く活動です。トピックに関する自分の意見や考えを書いてみましょう。

TRY **Task 4** で書いた内容に基づいて、発表・やりとりを行う活動です。質疑応答までできるとよりよいでしょう。

課 末

CAN-DO Self-review 各課の学習内容の到達度を確認できるチェックリストです。さまざまな活動を通して、自分がどの程度できたかを確認しましょう。

巻 末

Further Activities 本課のトピックに関連した内容を扱っています。

Useful Expressions 各課のトピックに関連した語句の一覧です。本課の活動に取り組む際に活用しましょう。

Glossary 本書に登場する語句の解説です。適宜参照しましょう。

Listening Quiz Scripts 本課 Listening Quiz の音声スクリプトです。

ループリック(評価基準表) 3つの観点 (Accuracy, Structure, Content) から **Task 2**、**TRY** の Speaking 活動、**Task 4** の Writing 活動を自己評価します。

■アイコン記号



：リスニング



40 seconds：発表の目安時間

Express yourself logically

メール、ウェブサイト、広告、テキストメッセージ、ニュース記事など、さまざまな文章や資料を読んで、内容の確認やペアワークを行い、自分の考えや意見を論理的に表現してみましょう。



以下の5つの形式に沿って、「話す」「書く」活動に取り組みます。

活動形式

メールを書く：	Lesson 1	Lesson 2	Lesson 3
意見を述べる：	Lesson 4	Lesson 5	Lesson 6
イラストを説明する：	Lesson 7	Lesson 8	
申込書・応募書類を作る：	Lesson 9	Lesson 10	
要点を整理する：	Lesson 11	Lesson 12	

Lesson 5

Smart agriculture



See page 95 Useful Expressions



素材：
会話文、メール、ニュース記事、
表、グラフなど、さまざまな素
材を組み合わせで提示。

Listening Quiz Q1. Q2.

Read the dialog between Meg and Ken. They are talking about the news article below about smart agriculture.

Ken: Hi, Meg. Look at this interesting article I found about smart agriculture.

Meg: Smart agriculture? What's that?

Ken: It means using modern technologies like AI to make farming more efficient. For example, AI can use data from soil sensors to automatically adjust the amount of water that crops are given. This kind of innovative technology will be a real game changer for agriculture!

Meg: I'm sure it will. But won't you feel sad to see traditional farming practices disappear?

Ken: Well, maybe, but new technology will make farmers' lives much easier.

Smart Agriculture City

By Ueno Aya,
MINAMI NEWS
July 7, 2023 | Japan,
agriculture, technology,
aging society

Minami City–The city government has started what it calls a “Smart Farm Project” to respond to climate change and the severe labor shortage in agriculture. “By making full use of new technologies such as artificial intelligence (AI) and the Internet of Things (IoT), smart agriculture makes farming more efficient and increases crop production,” a city spokesperson said.

Farmers' average age in Minami City	
Year	Average age
2002	49.9
2007	53.1
2012	55.4
2017	58.6
2022	59.9

CAN-DO

- A. Speak (Interaction)** You can share your ideas about smart agriculture.
- B. Speak (Presentation)** You can give a 1-minute presentation about smart agriculture.
- C. Write** You can write about 90 words on whether smart agriculture will change farmers' lives.

CAN-DO :
各課における 2 技能 3 領域
の目標を提示。

Task 1 Answer the questions below and complete the chart. Then compare your answers with your partner's.

About the dialog

(1) How does Ken explain smart agriculture?

(2) How can AI use data collected by soil sensors?

(3) How does Ken think new technology will change farmers' lives?

Task 1 :
英問英答による素材の内容
確認問題。

About the news article

① When was this article published?	
② Why has the city started the Smart Farm Project?	To respond to • •
③ According to the city spokesperson, what changes will smart agriculture bring about?	• •

Task 2 Think about the following question and share your ideas with your classmates. Use the article and table on page 36 to help you.

What are the advantage(s) and disadvantage(s) of smart agriculture?

Advantage(s)	•
Disadvantage(s)	•

Task 2 :
各課のテーマに関連し、デ
ィスカッションやディベ
ートにつながる設問を提示。

Hints less human labor / control crop quality / food sufficiency / IT skills / cost ... etc.

Your ideas

Other students' ideas

Task 3 Read Ken's essay on the following topic: Do you agree that smart agriculture will become common in Japan in the future?

Task 3 :
モデル文の提示とTask 4に
向けてアウトラインを作成
する活動。

I think smart agriculture will become common in Japan in the future for two reasons. First, the farming industry in this country has a labor shortage. If machines can take over much of the work that farm workers currently do, the problem will be solved. Second, smart agriculture is more eco-friendly than traditional farming. For example, AI can use big data to calculate the minimum amount of pesticide needed to treat a particular area. Such measures will minimize the damage caused by farming, making farming much more sustainable.

Now follow the steps below to prepare to write an essay on the same topic as Ken's.

① Write down as many reasons as you can think of for agreeing or disagreeing.

Agree	Disagree
e.g. Japan's farming population is growing older.	e.g. Machines are expensive.

Hints attract young people / increase agricultural productivity / balance work and private life / require specialized knowledge ... etc.

② Share your ideas with your classmates. Write down any interesting ideas they come up with.

③ Decide whether you agree or disagree, and then write down two ideas to support your position. Make sure your sentences include details or examples.

Your position: Agree / Disagree

Task 4 Use the information on page 36 and the notes on page 38 to write about 90 words on the same topic as Ken's.

Task 4 :
Task 3 で作成したアウトラ
インを元に英文を書く活動。

TRY :
書いた内容を元にした発表。



TRY Give a presentation to your classmates about the essay you have written.

CAN-DO Self-review

	Excellent (^o^)	Good (^_^)	Need to improve (>_<)
A. Speak (Interaction)	スマート農業について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	スマート農業について、時々英語にミスはあるが、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	スマート農業について、自分の考えを伝えたりクラスメートの考えを理解したりすることができなかった。
B. Speak (Presentation)	スマート農業について、適切な英語を使い、1分で発表することができた。	スマート農業について、時々英語にミスはあるが、1分で発表することができた。	スマート農業について、発表することができなかった。
C. Write	適切な英語を使い、スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、90語程度で意見を書くことができた。	時々英語にミスはあるが、スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、90語程度で意見を書くことができた。	スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、意見を書くことができなかった。

Lesson 12

Garbage problems

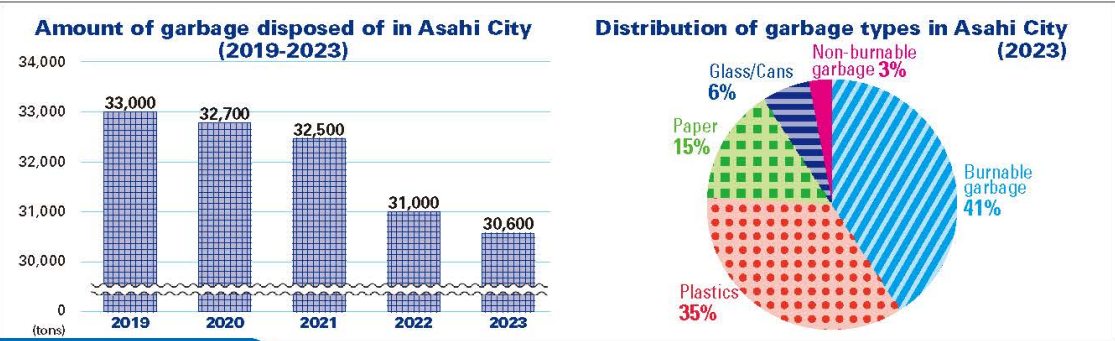


See page 97 Useful Expressions



Listening Quiz Q1. Q2.

Look at the charts, and then read the email Chris Wilson sent to Mr. Tanaka, the mayor of Asahi City.



素材：
2つのグラフの読み取り
+メールの読み取り。

Subject: Increase in plastic waste

Dear Mr. Tanaka,

I have been a resident of Asahi City since 2019, and I feel that the amount of plastic waste has been increasing recently. I would like to comment on two problems caused by this increase.

First, I have seen people putting out plastic waste on regular garbage days as well as on recycling days. This could be because there are not enough recycling bins in the city. In fact, this may also be the reason for the second problem I have noticed: the increasing number of empty plastic bottles thrown away on our streets. I guess some people may be unaware of how to sort their garbage properly. In addition to providing more recycling bins, perhaps the city could put more information about recycling on its website to prompt people to dispose of their garbage properly. Thank you for your consideration regarding this matter.

Sincerely,
Chris Wilson

- CAN-DO**
- A. Speak (Interaction)** You can share your opinions about garbage problems with your classmates and offer solutions.
 - B. Speak (Presentation)** You can give a 90-second presentation suggesting solutions to garbage problems.
 - C. Write** You can use points from the charts and Chris Wilson's email to help you write about garbage problems and offer solutions in about 110 words.

Task 1 Fill in the blanks and answer the questions. Then compare your answers with your partner's.

About the charts

Over recent years, the amount of garbage disposed of in Asahi City has been ① _____: in 2019, a total of 33,000 tons was thrown away, while in 2023, the total amount was ② _____ tons. The most common type of garbage in 2023 was ③ _____, which accounted for 41% of the total, while non-burnable garbage made up the smallest proportion at 3%. Plastics came in second at 35%. Thus, burnable garbage and plastics ④ _____ for three-quarters of all garbage disposed of in the city in 2023.

About Chris Wilson's email

- (1) What kind of bad behavior has Chris Wilson noticed recently in connection with plastic waste?
- First, he _____.
- Second, _____.
- (2) What two reasons does Chris Wilson suggest for this behavior?
- First, _____.
- Second, some _____.
- (3) What suggestions does Chris Wilson offer to solve these problems?
- He suggests _____ and _____.

Task 2 Think about the following questions and share your ideas with your classmates.

What garbage problems have you noticed in your neighborhood, and what solutions can you propose?

Problems	Solutions

Hints litter / sort garbage / plastic waste / trash cans / plastic trays / over-packaging ... etc.

Your ideas

Other students' ideas

自分の考えやクラスメートの考えをメモ。

Task 3 Read Meg's essay below, and then make notes to help you write your own essay about garbage problems.

Between 2019 and 2023, the total amount of garbage disposed of in Asahi City each year decreased, but plastics accounted for more than a third of all garbage thrown away in 2023.

Chris Wilson, a resident of Asahi City, pointed out two examples of bad behavior in connection with plastic waste: some people put out plastics on regular garbage days, and an increasing number of empty plastic bottles are thrown away on the streets. To solve these problems, he suggested putting more information on the city's website to prompt people to recycle.

In my opinion, his suggestion might not be particularly effective because people will not see the information unless they access the website. I think putting up posters at garbage collection spots would be more effective, because most people would see them when they put out their garbage.

Like Meg, you are going to write an essay using the information on page 70. To prepare, follow the steps below.

- ① Write down some solutions you can think of to the problems Chris Wilson pointed out in connection with plastic waste.

e.g. Put up posters to prompt people to sort garbage properly.

e.g. Provide more recycling bins.

Hints の提示。

Hints decrease the number of plastic products / prompt people to recycle / work as a volunteer to clean up the city ... etc.

- ② Share your solutions with your classmates, and write down any good ideas they come up with.

- ③ Which of the solutions in ① and ② do you like best?

Task 4 Write about 110 words on garbage problems, referring to the information on page 70 and giving your ideas about how the problems Chris Wilson pointed out could be solved.

5

10

15



TRY Give a presentation to your classmates about what you have written.

CAN-DO Self-review :
自己評価による振り返り。

CAN-DO Self-review

	Excellent (^o^)	Good (^_^)	Need to improve (>_<)
A. Speak (Interaction)	身の回りのゴミ問題とその解決方法について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	身の回りのゴミ問題とその解決方法について、時々英語にミスはあるが、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	身の回りのゴミ問題とその解決方法について、自分の考えを伝えたりクラスメートの考えを理解したりすることができなかった。
B. Speak (Presentation)	ゴミ問題とその解決方法について、適切な英語を使い、90秒で発表することができた。	ゴミ問題とその解決方法について、時々英語にミスはあるが、90秒で発表することができた。	ゴミ問題とその解決方法について、発表することができなかった。
C. Write	適切な英語を使い、グラフとメールの要点を押さえ、ゴミ問題とその解決方法について、110語程度で意見を書くことができた。	時々英語にミスはあるが、グラフとメールの要点を押さえ、ゴミ問題とその解決方法について、110語程度で意見を書くことができた。	ゴミ問題とその解決方法について、グラフとメールの要点を押さえ、意見を書くことができなかった。

Interview

Meet a local farming business worker

Mr. Tanabe Masaki is the general manager of Midori Foods, which expanded its business to agriculture five years ago by establishing a farm in Asahi Town.



What made you decide to expand your business to farming? Our company produces tomato ketchup and pizza sauce, as you know, but we always used to face the problem of having to pay increased prices for tomatoes every winter. Therefore, we decided to open our own farm to ensure a stable supply of ingredients.

Why did you choose Asahi Town? We found out that Asahi Town offers support to companies

advantage is that it takes only an hour to drive from Asahi Town to our factory in Midori City. It soon became clear that Asahi Town was the best place for us to open a farm.

Your company was the first one to come to our town, but last year, two other companies followed. Do you have any message for other companies thinking of starting farming in our town? Some people say it's risky for companies to go into farming, but I believe farming will help them grow in the long run. Also, we are proud of supporting the local community by hiring young people. We started with 12 workers, and the number has doubled in the last five years. I'm hoping that more companies will come to the town.



Further Activities :

素材に対する客観式内容確認問題と、英作文問題および発信活動。

questions about the article.

(1) What is the main purpose of this article?

- ① To inform readers about crops harvested in Asahi Town.
- ② To inform readers about a local farming business.
- ③ To inform readers about an effective way to grow tomatoes.
- ④ To inform readers about how the local government supports new businesses.

(2) Which of the following is true?

- ① Midori Foods has a factory in Asahi Town.
- ② Midori Foods is the only company that has set up business in Asahi Town recently.
- ③ There are 24 local people working at Midori Foods' farm now.
- ④ Midori Foods is planning to close its farm in Asahi Town this year.

2. Work on the following tasks.

Task A What do you think would be a good way to solve the labor shortage in Japanese agriculture? Write about 80 words.

.....

.....

.....

.....

.....

Task B Give a presentation to your classmates about what you wrote in **Task A**.

See pages 74-75

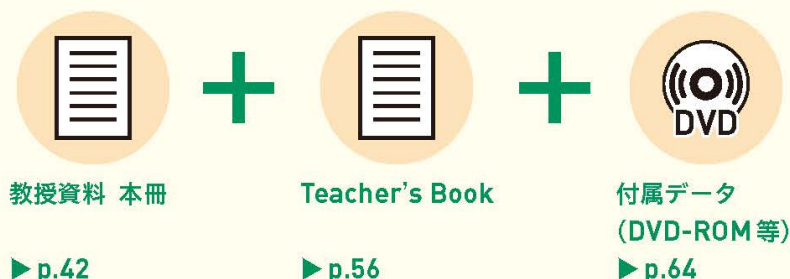
◆教材配当表

時間数は目安：定期考査や下記以外のページの時間も含めて、年間 60 時間程度を想定。

Lesson タイトル	学習事項 内容	時間数
はじめに	パラグラフの展開パターン パラグラフの構成，例示・列挙，比較・対照， 原因・結果，時間的順序	5
Lesson 1 Coming to Japan	メールを書く① 受け取ったメールへの返信を書く	2～3
Lesson 2 Online shopping	メールを書く② 注文した商品の不備を報告するとともに，その後の 対応について質問するメールを書く	2～3
Lesson 3 Preparing to study abroad	メールを書く③ 留学予定先の学校に懸念点を質問するメールを書く	2～3
Lesson 4 24-hour stores	意見を述べる① コンビニエンスストアの 24 時間営業の是非につい て意見を述べる	2～3
Lesson 5 Smart agriculture	意見を述べる② スマート農業の普及に関して意見を述べる	2～3
Lesson 6 Aiman, the household robot	意見を述べる③ 人気になると思う家事ロボットの機能について意見 を述べる	2～3
Lesson 7 Recipes	イラストを説明する① お好み焼きの作り方を説明する	2～3
Lesson 8 A helping hand	イラストを説明する② 駅への道で遭遇した出来事を説明する	2～3
Lesson 9 International Science Fair	申込書・応募書類を作る① 高校生向けの科学イベントへの参加申込書を作る	2～3
Lesson 10 Future career plans	申込書・応募書類を作る② インターンシップへの応募書類を作る	2～3
Lesson 11 Media reliability	要点を整理する① 情報の信頼性に関する資料の要点を整理するととも に意見を述べる	2～3
Lesson 12 Garbage problems	要点を整理する② ゴミ問題に関する資料の要点を整理するとともに意 見を述べる	2～3
Speech & Presentation	スピーチ・プレゼンテーションの進め方	2
Discussion	ディスカッションの進め方，よく使われる表現	2
Debate	ディベートの進め方，よく使われる表現	3
Further Activities	本課に関連する素材の内容理解と，英作文および発 信活動	12

指導用教材

教授資料の構成



詳細はこちら！

EARTHRISE English Logic and Expression II, III Advanced / Standard TEACHER'S MANUAL

Ⅱ : Advanced B5判 / 本冊296頁 + Teacher's Book 200頁 / データ DVD-ROM / 価格24,200円 (税込)

Standard B5判 / 本冊312頁 + Teacher's Book 208頁 / データ DVD-ROM / 価格24,200円 (税込)

Ⅲ : Advanced B5判 / 本冊200頁 + Teacher's Book 104頁 / データ DVD-ROM / 価格24,200円 (税込)

Standard B5判 / 本冊184頁 + Teacher's Book 88頁 / データ DVD-ROM / 価格24,200円 (税込)

- 授業での表現活動や文法学習に役立つ教授資料、学習内容の定着から評価までトータルにサポート。
- 付属のデータ DVD-ROMには、授業やプリント作成に使えるデータを豊富にご用意しています。

指導用音声CD (別売)

Ⅱ : Advanced / Standard とも 6 枚組 / 標準価格17,600円 (税込)

Ⅲ : Advanced / Standard とも 4 枚組 / 標準価格16,500円 (税込)

- 本課のモデル文は 2 種類の速さ [通常読み・ファスター読み] の音声を収録しています。
- 自己表現活動の模範解答例をもれなく収録しています。
- 教科書巻末の Expressions Plus の例文音声も収録しています。
- 各レッスンの最後に、定期考査用のリスニング問題を用意しています。

TEACHER'S MANUAL PDF ファイル版 (別売)

Ⅱ, Ⅲ : Advanced / Standard とも DVD 1 枚 / 標準価格6,600円 (税込)

- TEACHER'S MANUAL の紙面を PDF 形式にて収録しています。

教授資料 付属データ

- 授業やプリント作成に使えるデータを豊富にご用意します。
(→具体的なデータ収録内容は p.64 をご参照ください。)

※各教科書には、Teacher's Book (単体) もあります。

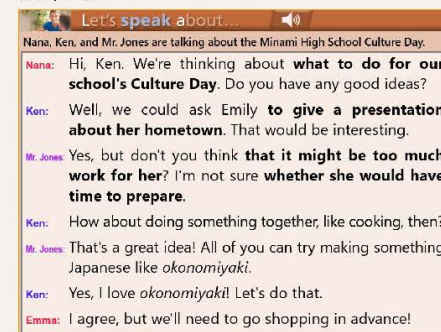
※教授用データの一部は、弊社 HP からダウンロードによってご用意する場合もあります。



授業用スライドデータ、授業用プリントデータ

「授業用スライドデータ」は Google スライドにも対応しています！
PowerPoint 形式も含め、PC 環境に合わせた運用が可能です！
その他、プリントデータなど授業に役立つデータが満載！

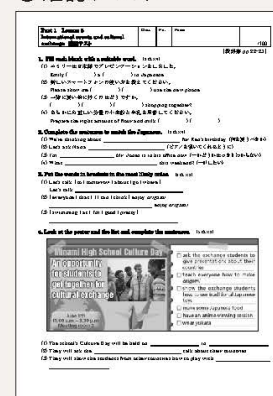
授業用スライドデータ



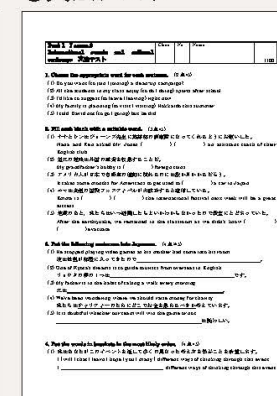
スライドデータとプリントデータを
連携して使えます！



●確認テスト



●文法テスト



●Google フォーム文法テスト



※教授資料の内容は見本であり、製品版では内容・体裁等が変更となる場合がございます。

Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange

学習目標

「国際交流、ボランティア」をテーマに、名詞のはたらきをする表現に注意して、話したり書いたりして伝える。各3領域につき以下を目標とする。

A. Speak (Interaction)

学校の文化の日に行う活動についてクラスメートとやりとりして、情報や考えを伝え合う。

B. Speak (Presentation)

学校の文化の日に行う活動について40秒程度で発表する。

C. Write

ボランティア活動の申し込みフォームを80語程度で書く。

る。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。(→ Let's speak about...)

・ボランティア活動に参加するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分のことや気持ちを、論理の構成や展開を工夫して申し込みフォームに書いて伝えている。(→ Let's write about...)

・「学校は生徒のボランティア活動を促進すべきだ」という論題について、理由を含めて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(→ What do you think?)

③主体的に学習に取り組む態度

・学校の文化の日に行う活動についての情報などを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。(→ Let's speak about...)

・ボランティア活動に参加するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分のことや気持ちを、論理の構成や展開を工夫して申し込みフォームに書いて伝えようとしている。(→ Let's write about...)

・「学校は生徒のボランティア活動を促進すべきだ」という論題について、理由を含めて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(→ What do you think?)

構成・指導ポイント

【Before you start...】

1の問題では、4つの写真それぞれについて、英文が読まれ、その説明に合う国をa~dから選ぶ問題。先に写真を見て予想してもよいだろう。

2の問題では、「製品のうちどれを最も買いたいですか」という質問について生徒に問い、理由なども合わせて尋ね、発表させる。生徒にペアを組ませ、ペアワークとして取り組ませ、その後でランダムにペアを選び、クラスでそのやりとりを実演させてもよい。生徒があまり思いつかないようなら、先にいくつかの例を挙げてもよいだろう。

【Let's speak about...】

Let's speak about...では、「学校の文化の日に行う活動」に関するモデル会話を読み、名詞のはたらきをする表現(to不定詞や接続詞that, whetherなど)を確認する。Basic Expressionsでさらに理解を深める。Task1では、モデル会話の内容について整理する。Task2では、学校の文化の日についてペアでやりとりをする。時間があれば、設問以外のことを尋ねてもよいだろう。その際、モデル会話やBasic Expressionsの表現を参考にさせるように促すとよい。Goalでは、Task2の発表をクラスで行う。

単元計画

各課の授業の進め方を示した単元計画の詳細を掲載

【Let's write about...】

Let's write about...では、「ボランティア活動の申し込み」に関するモデル文を読み、名詞のはたらきをする表現(動名詞、関係代名詞what)を確認する。Basic Expressionsでさらに理解を深める。Task1では、モデル文を読んで、要旨/内容の観点から確認させる。Task2では、自分がしたいボランティア活動についての申し込みフォームを書くための準備をする。GoalではTask2の内容を使って80語程度で1~2のパラグラフにまとめる。その際に、モデル文やBasic Expressionsを参照させるようにするとよいだろう。

【What do you think?】

「学校は生徒のボランティア活動を促進すべきだ」という論題について、教科書p.26に掲載のAgree / Disagreeの例や語句の例を参考にして、自分の考えを述べるという活動。二次元コードを介して見ることができるテーマ解説スライドなどをヒントにして、生徒に考えさせるとよい。英作文として取り組ませてもよいし、ペアワーク後に発表させてもよい。また、ディベートの活動として使用することもできる。

【単元計画】

時間	言語活動等
	【Before you start...】 ①写真に関する音声聞き、解答する。 ② Part 1 Lesson 3のテーマである「国際交流・世界の国々」に関する質問に答える。ペアやグループで話し合う。
1	【Let's speak about...】 ①テーマに関連する英語の質問に答える。 ②モデル会話の音声聞き、声に出して読む。また、内容について確認する。 ③モデル会話の内容に関する簡単なリスニングクイズに答える。 ④ Basic Expressionsで取り上げられている文法(名詞のはたらきをする表現)について確認する。 ⑤ Task 1では、モデル会話についての質問に答えて、内容を整理する。 ⑥ Task 2では、②、④で確認した語句、表現、会話の流れを参考に、学校の文化の日にする活動について情報や自分の考えを伝え合う。 ⑦ Goalでは、Task 2の内容をもとに、わかりやすい文章にまとめ、発表する。 ⑧発表者以外の生徒は、発表者の意見を聞き、内容を確認したり、理解できなければ質問をしたりする。 ⑨ TRYでは、英語の質問に対して、1~3文程度で答える。
1	【Let's write about...】 ①テーマに関する英語の質問に答える。 ②モデル文に関連する会話文を読み、問題に答える。 ③ボランティア活動の申し込みのモデル文を声に出して読む。また、内容について確認する。 ④ Task 1では、モデル文の内容や構成を確認する。 ⑤ Basic Expressionsで取り上げられている文法(名詞のはたらきをする表現)について確認する。 ⑥ Task 2では、自分のやりたいボランティア活動について知っていることや調べたことの概要や要点、また自分の考えを書く。 ⑦ Goalでは、③~⑤で確認した語句、表現、文章の構成を参考に、⑥の内容を用いてボランティア活動の申し込みについて1つもしくは2つのパラグラフの英文を書く。 ⑧書いた英文をペアで読み合い、感想を述べたり、内容や構成について質問をしたりする。
1	【What do you think?】 ①論題を読み、適宜スライドショーや語句のヒントを参照する。 ②まずは個人で賛成・反対の理由を考える。 ③ペアで役割を決め、2分程度話したあと、グループでの話し合いに発展させる。 ※もしくは、論題に対して自由英作文を書く活動とする。

Part 1
Lesson 3
International events and cultural exchange

A. Speak (Interaction)
Tell your partner about your school's Culture Day. You can use some of the expressions in the basic Expressions section to help you.

B. Speak (Presentation)
Give a 40-second presentation to the class about your school's Culture Day.

C. Write
Write a personal statement of about 80 words as part of a volunteer activity application. You can use some of the expressions in the basic Expressions section to help you.

Before you start...
1. Listen to the statements. Match the countries below with the photos.
a. Indonesia b. Kenya c. Colombia d. Turkey
Q1 Q2 Q3 Q4
2. Which of the products would you like to buy most?
No. _____

Before you start... CD①-63~67

1. 音声聞きなさい。次の国と写真を組み合わせなさい。

音声スクリプト DVD-ROM

- ① This is a photo of a tea market in an African country. This country is the third largest producer of tea in the world. Tea produced in this country is exported mainly to Europe.
- ② This is a photo of some beautiful lamps made from glass. These lamps are made in a country located both in Western Asia and Southeastern Europe.
- ③ This is a photo of a flower market in a South American country. This country is famous for exporting flowers. About 70% of Japan's carnations are imported from this country.
- ④ This is a photo of some batik shirts in a Southeast Asian country. Batik is a method of using wax to make designs on fabric. Batik products are popular souvenirs among tourists.

和訳

- ① これは、アフリカのある国の紅茶市場の写真です。この国は、世界第3位の紅茶の生産国です。この

国で生産されたお茶は、主にヨーロッパに輸出されています。

- ② これは、ガラスで作られたいくつかの美しいランプの写真です。このランプは、西アジアと南東ヨーロッパの両方に位置する国で作られたものです。
- ③ これは、南米のある国の花市場の写真です。この国は、花の輸出で有名な国です。日本のカーネーションの約7割がこの国から輸入されています。
- ④ これは、東南アジアのある国のパティックシャツの写真です。パティックとは、蝋を使って布にデザインを施す手法です。パティック製品は観光客に人気のお土産です。

解答 DVD-ROM

- ① b ② d ③ c ④ a

解説

- ① Europe は日本語では「ヨーロッパ」であるが、英語では[jʊərəp]とEuは「ユ」、最後のpeは「プ」と発音。producedとexportedは受動態であることに注意させたい。

- ② Western Asia は、イラクやヨルダン等主に中東を、Southeastern Europe はクロアチアやルーマニア、トルコ等を指す。

- ③ ①ではtea marketで、ここではflower marketと、〈名詞+market〉で「〇〇市場」となる。

- ④ batikの発音は[bə'tɪk, bæ'tɪk]で、不可算名詞・形容詞となっていて、たが2語が名詞・形容詞となっていて、Southeast Asianは名詞・形容詞。

2. どの商品を最も買いたいですか。

解答例 DVD-ROM

- ・I'd like to buy some tea because I drink black tea every day.
- ・I want to buy a lamp because I love the color and design.
- ・I make a point of having flowers in my room, so I'd like to buy some of the flowers.
- ・I like the bright color and design of the batik shirts, so I'd like to buy one.

解説

日常生活や自分の好みに基づいて話す活動。I would like to buy ..., because ~のパターンを先に示すとスムーズに進められるだろう。

Let's speak about...

Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

Minami High School Culture Day
An opportunity for students to get together for cultural exchange
June 8th
11:00 a.m. - 3:30 p.m.
Meeting room 2

Ask the exchange students to give presentations about their countries.
Teach everyone how to make origami.
Show the exchange students how to use traditional Japanese toys.
Make some Japanese food.
Have an anime-viewing session.
Wear yukata.

Nana: Hi, Ken. We're thinking about what to do for our school's Culture Day. Do you have any good ideas?
Ken: Well, we could ask Emily to give a presentation about her hometown. That would be interesting.
Mr. Jones: Yes, but don't you think that it might be too much work for her? I'm not sure whether she would have time to prepare.
Ken: How about doing something together, like cooking, then?
Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.
Ken: Yes, I love *okonomiyaki*! Let's do that.
Nana: I agree, but we'll need to go shopping in advance!

Listening Quiz Q1. Q2.

Basic Expressions

- We're thinking about what to do for our school's Culture Day. (1.2)
- We could ask Emily to give a presentation about her hometown. (1.5)
- Don't you think that it might be too much work for Emily? (1.7)
- I'm not sure whether she would have time to prepare. (1.8)

Let's speak about... の導入例

Oral Introduction
→「英語での授業」に対応した授業での導入例を掲載！

Let's speak about... の写真解説等

写真や資料に関連する質問を用意
→写真などの素材を使って、英語でのやりとりが可能

Let's speak about...

Oral introduction

Have you ever been to any international exchange events? These events give you an opportunity to learn about different cultures, and you can also teach people from other countries about your own culture. What elements of Japanese culture would you like to introduce people to? kimono? Or maybe a discussion between them. They're discussing Culture Day.

p.22 写真・資料の解説

左側にはカルチャー・デーのポスターが、右側には行う活動の候補をリストアップしたメモがある。

和訳

南高校カルチャー・デー(文化の日)
生徒たちが文化交流のために集まる機会
6月8日 午前11:00~午後3:30
ミーティングルーム2

- ☐ 留学生に自国についてプレゼンテーションをしてもらうように頼む
- ☐ みんなに折り紙の折り方を教える

主に伝統的な日本の玩具の使い方を教える

☐ 何かに日本の食べ物を作る

☐ アニメ鑑賞会を開催する

☐ 浴衣を着る

《p.22 ポスターとメモに関する質問例》

・When and where is Minami High School's Culture Day going to be held? — It's going to be held on June 8th from 11 a.m. to 3:30 p.m. in Meeting room 2 at Minami High School.

・Which of the activities listed in the notes next to the poster do you think would be the most interesting for exchange students? — I think exchange students would probably appreciate an anime-viewing session most.

・What is the main purpose of Minami High School Culture Day? — (It is) to get students together for cultural exchange. / (It is) to provide students with [give students] an opportunity to get together for cultural exchange.

《テーマ(国際交流・イベント)に関する質問例》

・Have you ever been to a cultural festival? — No, but I'd love to go to one if I had the chance.

・If you had to plan an activity for your school's

Culture Day, what element of Japanese culture would you focus on? — I'd probably plan an activity to introduce Japanese food, such as sushi.

・Which foreign culture would you like to learn more about? — I'd like to know more about Indian culture, because I don't know much about it.

Model Dialog (p.22) CD①-69~70

■ナナ、ケン、ジョーンズ先生が南高校の文化の日（カルチャーデー）について話しています。

モデル会話の和訳例 DVD-ROM

ナナ：やあ、ケン。私たちは学校の文化の日に何をしようか考えているの。何かいい案はある？

ケン：そうだね、エミリーに彼女の故郷についてプレゼンテーションをしてもらえないか頼むのはどうかな。面白そうだよ。

ジョーンズ先生：そうですね、でもそれは彼女にとって荷が重すぎるかもしれないと思いませんか。彼女に準備をする時間があるかどうかわかりません。

ケン：じゃあ、例えば料理をしたら、何かを一緒にするのはどうですか。

ジョーンズ先生：それは素晴らしいアイデアですね！君たちみんなで、例えばお好み焼きのよ

語句解説

モデル文の語句解説

→充実した語句解説で

Model Dialog の内容を理解

ナナ：ありがとうございます！

語句解説

p. 22, ll. 3-4 We're thinking about what to do for our school's Culture Day. 「私たちは学校の文化の日に何をしようか考えている」

▶現在進行形を使用することで、考えている状態を表す。

▶what to do は「何をすべきか」の意味。〈疑問詞 + to do〉で名詞のはたらきをしている。(→ Basic Expressions 参照)

例)I didn't know where to go and what to see. 「どこへ行って何を見ればいいのかわからなかった」〈オーレックス英和〉

▶ここでの Culture Day は、国際交流のための学校の行事の名称として使われている。

4 Do you have any good ideas? 「何かいい案はありますか」

Any good ideas? と省略して言ってもよい。その場合はもう少しカジュアルな表現となる。

5-6 we could ask Emily to give a presentation about her hometown. 「エミリーに故郷についてプレゼンテーションしてもらえるか聞いてみるのはどうだろうか」

▶We [You] could do で「～したらどうですか」という〈提案〉を表すことができる。

例)You could do twenty minutes' exercise every morning. 「毎朝 20 分間運動をしたらどう」〈ジャーニース英和〉

▶ask ~ to do 「～に…するように頼む」(→ Basic Expressions 参照)

6 That would be interesting. 「面白そうだよ」
That は「エミリーに故郷についてプレゼンテーションしてもらうこと」。would は「～だろう」という現在の〈推量〉を表す。

7 don't you think that it might be too much work for her? 「それは彼女には荷が重すぎると思いませんか」

▶Don't you think that と付けることで柔らかい表現となる。that の後は SV が続く。(→ Basic Expressions 参照)

▶might は「～するかもしれない、～しかなない」という現在の〈推量・可能性〉を表す助動詞。

8 I'm not sure whether she would have time to prepare. 「彼女に準備をする時間があるかどうかわかりません」

▶I'm sure (that) ~ は「～を確信している」となるが、I'm not sure は「わからない、確信がもてない」の意味となる。whether 「～かどうか」の後は SV が続く。(→ Basic Expressions 参照)

▶time to prepare の to prepare は不定詞の形容詞的用法で「準備をするための時間」。

9 How about doing something together, like cooking, then? 「では、例えば料理をしたら、何かを一緒にするのはどうですか」

▶How about doing ~? は、「～をするのはどうですか」と何かを提案するときに使用する表現。
例)How about eating out? 「外食しませんか」

▶like ~ は such as ~ と同じように、「(たとえば) ~ のような」という意味で使われている前置詞。

10 That's a great idea! 「それは素晴らしいアイデアですね！」

省略して Great idea! だけでもよい。相手の提案に賛同する時に使用する。懸念があれば、Um, it might be better to ~ 「うーん、～したほうがいいかもしれません」や That's a good idea, but ~ 「いいアイデアだけれど～」と一旦は相手の提案を評価した上で懸念点を挙げるとよい。That's a bad idea! とあからさまな否定は相手に対して失礼となるため避けるべき。

10 All of you can try making something Japanese 「君たちみんなで日本的なものを作ることができますね」

▶try doing は「(試しに)～してみる」。try to do は「～しようと試みる[努力する]」の意味になることに注意。

例)She was trying not to cry. 「彼女は泣かないように努めていた」〈LODCE〉

例)I tried calling him but there was no answer. 「彼に電話をしてみたが、出ませんでした」〈OALD〉

▶〈something + 形容詞〉「何か～なもの」ここでは「何か日本的なもの」の意味。Japanese something とするのは間違い。

例)There's something sharp in my shoe. 「靴の中に何かとがったものが入っている」〈CALD〉

13 in advance 「事前に、前もって」

何か予定があり、その前にというニュアンスで in advance がよく使われる。類語に beforehand がある。

例)We made reservations in advance. 「私たちは事前に予約をした」〈Britannica Dictionary〉

Listening Quiz CD①-71

音声スクリプト DVD-ROM

True or false?

- Emily is planning to give a presentation about her hometown.
- Mr. Jones suggests cooking something Japanese like *okonomiyaki* on their school's Culture Day.

和訳

- エミリーは、自分の故郷についてプレゼンテーションをする予定です。
- ジョーンズ先生は、学校の文化の日にお好み焼きのような日本的なものを作することを提案します。

解答 DVD-ROM

- False
- True

解説

- ll. 7-8 でジョーンズ先生がエミリーにとって準備が大変ではないかと懸念を示し、結果ケンが別の代

Basic / Functional Expressions 解説

Model Dialog の文法の説明

→適宜例文を用いた充実した解説

里として

お好み焼きを作ることを提案している。

Basic Expressions CD①-72

和訳 DVD-ROM

・私たちは学校の文化の日に何をすべきか考えています。

・私たちはエミリーに故郷について発表してもらおう依頼できるかもしれません。

・それはエミリーにとって大変な作業かもしれないと思いませんか。

・彼女に準備する時間があるかどうかわかりません。

解説 (詳細は pp. 274-275 Expressions Plus 参照)

名詞のはたらきをする表現

①不定詞

what to do を用い、「何をすべきか」を表現できる。例文では what to do for our school's Culture Day とあるが、what と不定詞の間に名詞を入れて what activity to do for our school's Culture Day とより具体的に表現することもできる。

〈疑問詞 + to do〉の形はほかに、where to do, when to do, which ~ to do, how to do がある。

例)It's difficult choosing where to live. 「どこに住むかを選ぶのは難しい」〈CALD〉

② that

「(S が V する)ということ」を表す。〈that + S + V...〉で名詞のはたらきをする。

例)I think that it is too easy for him. 「それは彼にとって易しすぎると思う」

③ whether

「(S が ~ する)かどうか」を表す。②同様 whether も〈whether + S + V...〉となる。

例)I wasn't sure whether you'd like it. 「君がそれに関心に入るかどうかわからなかった」〈CALD〉

Task 1 CD①-73

22 ページの会話文を読んで、表を埋めなさい。

和訳

①ケンの最初の提案は何ですか。

②ジョーンズ先生は、ケンの最初の提案をどう思っていますか。

③ナナは何をする必要があると言っていますか。

解答例 DVD-ROM

- ① He suggests asking Emily to give a presentation about her hometown.

② He thinks that it might be too much work for Emily.

③ She says they will need to go shopping in advance.

解説

① 11.5-6 参照。 ② 1.7 参照。

③ 1.13 参照。本文では一人称で述べられているが、we を they に変えて解答する。

Task 2 CD①-74

下の質問に答えなさい。そして、パートナーとそれについて質問し回答する練習をしましょう。

和訳

- Q1. あなたの学校の文化の日に何をしたいですか。
- Q2. あなたが提案した活動でどんなことをしますか。
- Q3. なぜこの活動を提案しましたか。

解答例 DVD-ROM

- Q1. I'd like to have an *origami* workshop.
- Q2. I'd show everyone how to make *origami*.
- Q3. I'm good at making things with paper.

解説

- Q1. p.22 のメモから選べばよいが、自分のアイデアを挙げてよいだろう。
- Q2. Q1 で答えた活動において具体的に何がしたいのかを解答する。解答例では1つのことしか挙げていないが、and で続けて複数挙げさせてもよい。また、Q1 同様、I'd like to ~で答えてもよい。
- Q3. 質問文が Why で始まっているので、Because ~

Goal 解説

発表する活動の解答例と解説

→複数の解答例と発表者以外の生徒からの質問例を記載

Goal CD①-75~76

Task 2 であなたが書いたことについてクラスで発表しなさい。ほかの生徒は質問をしましょう。

Example 和訳

私たちの文化の日には、折り紙のワークショップを開きたいと思います。折り紙は、だれもが楽しめる素晴らしい活動だと思います。家からきれいな紙を持って来て、折り紙の作り方をみんなに見せます。私は紙で何かを作るのがかなり得意なので、交換留学生に折り方を教えたいです。後で彼らの折り紙を展示するのも楽しいでしょう。

解答例 DVD-ROM

I'd like to put on a *bonodori* dance performance with

my classmates for our Culture Day. We could bring *yukata* from home and dance to traditional Japanese music. *Bonodori* is not difficult to learn, so I could teach it to others. I think it might be fun to dance together wearing *yukata*.

別解例 DVD-ROM

For our Culture Day, I'd like to introduce our exchange students to some Japanese food they might not have tried before. I think they'd really enjoy making and eating *temaki zushi*, for example. We could prepare the rice, fish, and vegetables in advance. Then all they'd need to do is take a sheet of *nori* and roll the sushi themselves. It would be great fun!

解説

Basic Expressions の Don't you think that it might be ~? の応用として、解答例では I think+it might/ would be ~という表現を使用した。例文では It would be fun to display ... という表現で使用している。Task 2 によって、まずは何をしたいか、そしてなぜそれをしたいか、という一連の流れで作文できるはずである。別解例では、in advance も導入し、事前の準備としてやることをまず挙げている。

発表者以外の生徒からの質問例

- ・What kind of *origami* can you make?
- ・Have you ever taught anyone to make *origami*?
- ・How many *yukata* do you have?
- ・Is it difficult to put a *yukata* on?
- ・Do you think we can have enough *yukata* for ...?

評価基準

3つの観点からの評価

→教科書掲載のCheck listの項目について具体的な基準を用意

Check list 評価基準 DVD-ROM

Accuracy (正確さ)	A. 適切な発音で、文法・表現(名詞のはたらきをする表現)を正しく使って、学校の文化の日に行う活動に関して相手に伝えることができる
	B. 発音や文法・表現(名詞のはたらきをする表現)にいくつか間違いがあるが、学校の文化の日に行う活動に関して相手に伝えることができる

Additional Activity	
教科書には載っていないやや発展的な活動と回答例 →各レッスンのテーマに関連した設問で、さらにアウトプットの力を養成します	
Structure (内容の展開) [1] やりとり	A. 学校の文化の日に行う活動に関して、相手に適切に質問や応答をすることで、必要な情報の交換ができる B. 学校の文化の日に行う活動に関して、相手に質問や応答をすることで、概ね必要な情報の交換ができる C. 学校の文化の日に行う活動に関して、相手への質問や応答が不十分で、うまく必要な情報の交換ができない
Structure (内容の展開) [2] 発表	A. 学校の文化の日に行う活動に関して、情報・考えの流れや論理に矛盾や飛躍がなく伝えることができる B. 学校の文化の日に行う活動に関して、情報・考えの流れや論理に概ね矛盾や飛躍がなく伝えることができる C. 学校の文化の日に行う活動に関して、情報・考えの流れや論理に矛盾や飛躍があり、うまく伝えることができない
Content (内容)	A. 教科書のテーマ(学校の文化の日に行う活動)に沿って、十分な情報や考えを伝えることができる B. 教科書のテーマ(学校の文化の日に行う活動)に沿って、概ね必要な情報や考えを伝えることができる C. 教科書のテーマ(学校の文化の日に行う活動)に沿った必要な情報や考えが不足していて、内容がまとまっていない

TRY CD①-77

どんな学校行事をあなたは最も楽しみにしていますか。なぜですか。

解答例 DVD-ROM

I look forward to our school trip most because I can spend three days with my friends and teachers and visit many interesting places.

別解例 DVD-ROM

- ・I look forward to the sports festival most because we get to know each other better by practicing together. I like competing with other teams, too.
- ・I always look forward to the cultural festival because I get to perform on stage with the other members of the drama club every year. It's a lot of work, but I really enjoy it.

解説

体育祭や文化祭、修学旅行など、何を最も楽しみにしているかをまず挙げさせ、その理由も述べさせる。

必要であればまずは I look forward to を定着させる。

Additional Activity DVD-ROM

Imagine you're an exchange student in Canada. What types of cultural activities would you like to learn about or participate in?

[Hints]

traditional food / restaurants / sports / ice hockey / skiing / language / music / art / natural scenery / aurora / celebrities

解答例

First of all, I'd like to try Canadian food. I'm familiar with Western cuisine in general, but I don't know what foods are unique to Canada. I'd love to try them!

I don't know much about Canadian teenagers' lifestyles, either, so I'd like to find out how they spend their free time, particularly on ordinary days after school. I'd also like to learn about Canadian pop culture. I'm especially interested in what kind of music is popular among Canadian teenagers, so I'd love it if my classmates could take me to some gigs. But just listening to music together at someone's home would also be fine.

Lastly, I'd like to learn what kind of English slang Canadian students use. I want to be able to speak like them!

解説

ここまでは自分がホスト側として交換留学生にどのような活動を提供したいかについて考えてきたが、今度は自分が渡航したらどのような文化活動に触れたいかを考えさせる。アメリカだと文化的知識が既に豊富であるかもしれないため、高校生の交換留学先でポピュラーなカナダとした。同様にオーストラリアやニュージーランドなどとしてもよいかもしれない。参加したい活動が思いつかないようであれば、まずはペアで考えさせたり、クラス全体でブレインストーミングをさせたりした後で作文に移ることもできるだろう。

を勉強して現在までで6年になる」ということ。

例) It has been ten years now since we got married.

「私たちが結婚して10年になる」

9 I'm not fluent 「私は流暢ではない」

fluent 「流暢な」

9-10 I make a point of listening to English podcasts every day to improve my English 「英語を上達させるために毎日必ず英語のポッドキャストを聞くようにしています」

▶ make a point of *doing* は「決まって～する、～することになっている」と意識的に行なっていることを表す。of の後は動名詞が来ることに注意させる。(→ Basic Expressions 参照)

▶ podcast 「ポッドキャスト」(インターネット上の音声・動画番組)

▶ improve は他動詞で「～上達させる」の意味。「上達する、よくなる」という自動詞もある。

10-11 What I want to do most is communicate with a lot of people from abroad. 「私が最もしたいことは、たくさんの海外からの人々とコミュニケーションをとることです」

what は先行詞を含む関係代名詞で、〈what+S+V〉「Sが～すること[もの]」の意味。What I want to do most までが文の主語となり、is の後は文の補語(C)になっている。to は省略されることが多い。(→ Basic Expressions 参照)

12 Please let me know 「お知らせください」

〈let+O+do〉「Oに～させる」。Let me know だけだとカジュアルな表現となるため、please を付け加え丁寧な表現にする。

12-13 Thank you for considering my application. 「私の応募をご検討いただきありがとうございます」

Thank you for *doing* 「～してくださりありがとうございます」の意味。カジュアルな表現にしたい場合は Thanks for *doing* となる。前置詞 for の後には動名詞か名詞が来る。

例) Thank you for your help with my homework. 「宿題を手伝ってくれてありがとうございます」

Task 1 CD①-83

文章を分析しなさい。

和訳

Overview

・この文章の主題は何ですか。

Contents

(1) ケンはどのようなボランティア活動をしたいのですか。

(2) 英語力を向上させるためにケンは何をしていますか。

(3) ケンは何を最もやりたいのですか。

解答例 DVD-ROM

・ Ken's application to take part in a volunteer activity

(1) He wants to assist visitors at the city's international cultural festival.

(2) He listens to English podcasts every day. / He makes a point of listening to English podcasts every day.

(3) He wants to communicate with a lot of people from abroad.

解説

Basic / Functional Expressions 解説として Model Passage の文法の説明 → 適宜例文を用いた充実した解説

(1) Ⅱ.8 参照。 (2) Ⅱ.9-10 参照。 (3) Ⅱ.10-11 参照。

Basic Expressions CD①-84

和訳 DVD-ROM

・ 私は毎日英語のポッドキャストを聞くようにしています。

・ 私が一番したいことは、海外から来たたくさんの人々とコミュニケーションをとることです。

解説 (→ 詳細は pp.274-275 Expressions Plus 参照)

名詞のはたらきをする表現

① 動名詞

doing の形で「～すること」を表す。動名詞は主語、補語、目的語になることができる。本文の例のように、前置詞の目的語になることもできる。

make a point of *doing* は「決まって～する、～することになっている」。of の後に動名詞が来る。

例) I make a point of finishing my homework before I go to bed. 「寝る前に宿題を済ませることにしている」〈前置詞+*doing*〉でよく使われる表現としては、be good at *doing* / be afraid of *doing* / be tired of *doing* / look forward to *doing* / etc.

② 関係代名詞 what

「Sが～すること[もの]」は〈what+S+V〉で表すことができる。例文では、What ～ most までが主語にあたり、文の補語(C)の to ～の to は省略されることが多い。

例) What I want to do most is (to) become an

astronaut. 「自分が一番したいことは宇宙飛行士になることだ」

関係代名詞 what は先行詞を含む関係代名詞のため、後に目的語(O)がない不完全な文が続く。

Task 2 CD①-85

あなたがボランティア活動に参加するために応募しようとしていると想像しなさい。質問に答えて表を埋めなさい。

和訳

① あなたはどんなボランティア活動をしたいですか。

② なぜあなたはそのようなボランティア活動をしたのですか。

③ あなたが選んだボランティア活動の利点は何ですか。

④ なぜあなたはあなたが選んだボランティア活動に自分が適していると思うのですか。

解答例 DVD-ROM

① I would like to volunteer as a coach for the children's sports festival.

② I love sports.

③ One of the advantages is being able to show children what fun sports are.

④ I belong to the track and field club. I am also good at ball games.

解説

① 解答欄に I があるので、I would like to ～で始まる文章で答えさせる。I would like to volunteer for ～でボランティアの機関名を言わせるのもよいし、I would like to ～と仕事の内容で答えさせてもよい。

② ボランティアしたい理由を聞いているので、Because ～や、I would like to do that kind of volunteer work because ～と答えてもよい。

③ 解答例では「利点の1つとして～」のように答えているが、複数挙げるなら、The advantages are ～や They are ～と表現できる。また、I believe ～や I think ～など、自分の考えを答えてもよい。

④ ここでは I make a point of *doing* という表現を使うこともできるだろう。教師側から Is there anything ～? I'm good at ～? I have ～? I like ～? I want to ～? と質問して、I am ～と答えることもできる。

Goal 解説 CD①-86

上のメモを使って、ボランティアの申し込みのための自己紹介書を80語程度で書きなさい。

解答例 DVD-ROM

I am a student at Asahi High School, and I would like to apply for a volunteer position in the sports festival for children that will be held in Asahi Park on October 10. I like sports very much, and I belong to the track and field club, so I would be able to give the children advice on how to throw and catch a ball. What I want to do most is play various sports with children. Thank you for considering my application.

別解例 1 DVD-ROM

I am a student at Nishi High School, and I would like to volunteer on weekends for Nishi City's food bank. What I want to do most is to help those in financial need, especially women and children. I make a point of reading every local newsletter carefully so that I am aware of the social issues in our city. Thank you very much for considering my application. I look forward to hearing from you.

別解例 2 DVD-ROM

I am a student at Higashi High School, and I would like to work as a volunteer to teach English to children after school. What I want to do most is to make our society more equal. Children who cannot afford to go to cram schools should still be given a good education. I make a point of reading and watching the news in English every day to improve my English. Please let me know if you need more information. Thank you for considering my application.

解説

I am a student at ～と始まるので、まずは自分の所属先を明示させる。その後 I would like to ～と続くので、動詞の原形を用いる。p.24 のモデル文では to volunteer とあるが、to apply for ～や work as a volunteer to ～と表すこともできる。志望動機については What I want to do most is ～の表現を使うとよい。自分の応募資格について言及する上では I make a point of *doing* ～を用いるなど、Basic Expressions が役立つことに注目させる。最後は締め括りの文章としてモデル文同様に、Thank you for considering my application. とお礼の表現で終わらないと、先方に対して失礼な印象となることを確認。

Check list 評価基準 DVD-ROM

Accuracy (正確さ)	A. ボランティア活動の申し込みに関して、適切な語彙や文法・表現(名詞のはたらきをする表現)を使って伝えることができる
	B. ボランティア活動の申し込みに関して、語彙や文法・表現(名詞のはたらきをする表現)にいくつか間違いがあるが、相手に伝えることができる
	C. ボランティア活動の申し込みに関して、語彙や文法・表現(名詞のはたらきをする表現)に間違いがあり、うまく伝えることができない
Structure (内容の展開)	A. ボランティア活動の申し込み情報・考えの流れや論理に矛盾なく伝えることができる
	B. ボランティア活動の申し込み情報・考えの流れや論理に概ね矛盾なく伝えることができる
	C. ボランティア活動の申し込みに関して、情報・考えの流れや論理に矛盾や飛躍があり、うまく伝えることができない
Content (内容)	A. 教科書のテーマ(ボランティア活動の申し込み)に沿って、十分な情報や考えを伝えることができる
	B. 教科書のテーマ(ボランティア活動の申し込み)に沿って、概ね必要な情報や考えを伝えることができる
	C. 教科書のテーマ(ボランティア活動の申し込み)に沿った必要な情報や考えが不足していて、内容がまとまっていない

TRY

あなたの文章を声に出して順番に読みなさい。ほかの生徒は質問をしなさい。

解説

Goal の文章をそのまま読んで終わるのではなく、Thank you for listening. や Thank you for your attention. などを最後につけるよう促したり、発表後に教師が That was great! や That was wonderful!, That was very interesting! など肯定的なコメントを加えてもよいだろう。

質問の例

- ・ Have you ever done any volunteer work before?
- ・ How long have you been doing track and field?
- ・ Have you worked with children before?
- ・ Can you tell me more about the food bank?
- ・ What made you interested in social issues?
- ・ Have you ever tutored anyone before?

Additional Activity DVD-ROM

Imagine that the mayor of your city is seeking volunteers to help with a welcome reception for a group of high school exchange students arriving from Australia next month. You are going to volunteer to help with the reception. Write an email to apply for a volunteer position.

解答例

Dear Mayor Suzuki,

評価基準

3つの観点からの評価
→教科書掲載の Check list の項目について具体的な基準を用意！

I would like to be a welcome receptionist for the exchange students coming to our city next month. I am interested in being an interpreter. I have been practicing my spoken English daily. I have been studying English for more than six years now. Last year I went on an exchange program in Sydney and stayed there for three months.

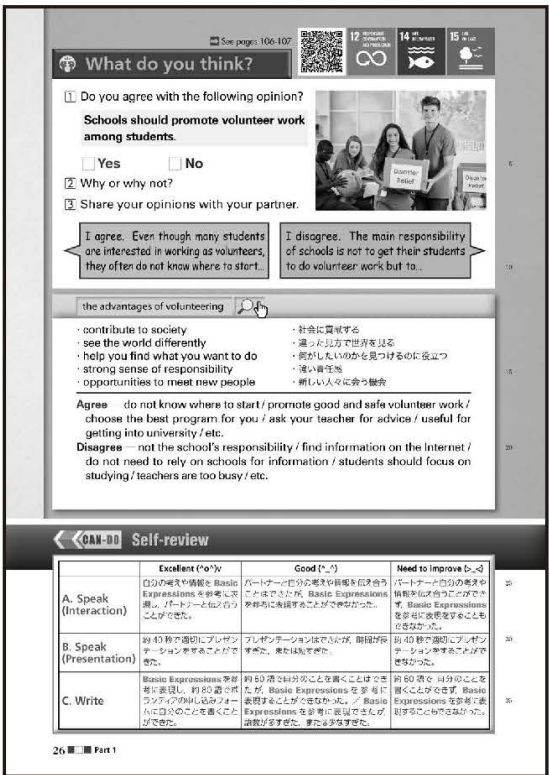
Thank you for considering my application.

Sincerely,

Nakamura Kana

解説

Goal に倣って、自治体の要望に応えたボランティアのための申請書作文の活動である。締め括りの文章は提供されていないので、クラスで Thank you for considering my application. や、Sincerely, Yours truly, などの表現を復習してからタスクに取り組んでもよい。



What do you think?

Oral introduction

Working as a volunteer doesn't allow you to earn any money, but the experience can be very fulfilling and beneficial. There are various volunteer programs for high school students. Do you think schools should promote volunteer work? We're discussing this question, and you should express your opinion on the role schools should play.

スライドショーのスクリプト

CD①-87

Schools should promote volunteer work among students.

Are you interested in doing volunteer work like participating in disaster relief or helping keep your local area clean? Many students are, but they often do not know how to get started. For this reason, some people say schools should promote volunteer activities among students.

If schools provided information about what kinds of volunteer activities are available and how students

can apply to take part in them, it would be very helpful for those students who are interested in volunteering.

However, since volunteer activities are done outside of school, some people say there is no need for schools to give their students information to help them take part. Such people insist that if students want to do volunteer activities, they can find information for themselves on the Internet or elsewhere.

What do you think about this topic? Discuss it with your classmates.

スクリプトの和訳

学校は生徒のボランティア活動を推進すべきだ。

災害支援や地域清掃などのボランティア活動に興味はありますか。多くの生徒はあるでしょうが、どのように始めればよいのかわからないことも多いでしょう。そこで、学校は生徒たちにボランティア活動を促進すべきだと言う人がいます。

どんなボランティア活動があるのか、どのように申し込みは参加できるのか、などの情報を学校側が提供してくれれば、ボランティアに興味がある生徒にとっては非常に助かります。

しかし、ボランティア活動は学外で行うものなので、生徒が参加するための情報を学校から提供するという意見もあります。そのような人々がボランティア活動をしたいのであれば、ネットなどで自分で情報を集めればよいと

す。テーマについてあなたはどう思いますか。クラスメイトと話し合ってみてください。

和訳 (p.26)

① 次の意見に賛成ですか。

学校は生徒のボランティア活動を促進すべきだ。

② なぜですか。

③ あなたの意見をパートナーと共有しなさい。

[Agree]

そう思います。多くの生徒がボランティアとして働くことに興味があっても、どこで始めたらいいのかわからないことが多いからです...

[Disagree]

そう思いません。学校の主な責務は、生徒にボランティア活動をさせることではなく...



CD①-68

Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

Minami High School Culture Day

An opportunity
for students to
get together for
cultural exchange



June 8th
11:00 a.m. – 3:30 p.m.
Meeting room 2



- ☐ ask the exchange students to give presentations about their countries
- ☐ teach everyone how to make *origami*
- ☐ show the exchange students how to use traditional Japanese toys
- ☐ make some Japanese food
- ☐ have an anime-viewing session
- ☐ wear *yukata*

CD①-69/
70 (Faster)

Nana: Hi, Ken. We're thinking about **what to do for our school's Culture Day**. Do you have any good ideas?

Ken: Well, we could ask Emily **to give a presentation about her hometown**. That would be interesting.

Mr. Jones: Yes, but don't you think **that it might be too much work for her**? I'm not sure **whether she would have time to prepare**.

Ken: How about doing something together, like cooking, then?

Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.

Ken: Yes, I love *okonomiyaki*! Let's

Nana: I agree, but we'll need to go s

指導用音声 CD のトラック番号
を記載

CD①-71

Listening Quiz Q1. ____ Q2. ____



Basic Expressions

私たちは学校の文化の日に何をすべきか考えています。

- We're thinking about **what to do for our school's Culture Day**. (I.3)

⇒ 「何をすべきか」は **what to do** で表すことができる。think about の目的語 (O) になっている。

- We could ask Emily **to give a presentation about her hometown**. (I.5)

⇒ **to do** は 「～すること」。「O に～するように頼む」は 〈ask + O + to do〉で表す。

- Don't you think **that it might be too much work for Emily**? (I.7)

⇒ 「S が～すること」を表すのに **that** を用い、そのあとに **SV** を続ける。

- I'm not sure **whether she would have time to prepare**. (I.8)

⇒ 「S が～するかどうか」を表すのに **whether** を用い、そのあとに **SV** を続ける。

⇒ See page 112 Expressions Plus

Let's speak about...

〈英語での導入例〉

Have you ever been to any international exchange events? These events give you an opportunity to learn about different cultures, and you can also teach people from other countries about your own culture. What elements of Japanese culture would you like to introduce people to? Japanese cuisine, maybe? Or kimono? Or maybe even anime? We're going to read a discussion between Nana, Ken, and Mr. Jones. They're discussing what to do for their school's Culture Day.

〈p.22 ポスターとメモに関する質問例〉

- When and where is Minami High School's Culture Day going to be held? — It's going to be held on June 8th from 11 a.m. to 3:30 p.m. in Meeting Room 2 at Minami High School.
- Which of the activities listed in the notes next to the poster do you think would be the most interesting for exchange students? — I think exchange students would probably appreciate an anime-viewing session most.
- What is the main purpose of Minami High School Culture Day? — (It is) to get students together for cultural exchange.

〈テーマ(国際交流・イベント)に関する質問例〉

- Have you ever been to a cultural festival? — No, but I'd love to go to one if I had the chance.
- If you had to plan an activity for your school's Culture Day, what element of Japanese culture would you focus on? — I'd probably plan an activity to introduce Japanese food, such as sushi.
- Which foreign culture would you like to learn more about? — I'd like to know more about Indian culture, because I don't know much about it.

Model dialog

Play the recording and have the students listen to it carefully. Then play it again, pausing for them to repeat each sentence. Direct their attention to the pronunciation. Explain any words or phrases you think they may not understand.

Listening Quiz

〈英語での指導案〉

Play the recording and have the students mark each sentence true or false. Check their answers.

OK, class. Let's work on the Listening Quiz. Listen to the sentences and mark each one true or false. You can just write a T or an F.

〈音声スクリプト〉

CD①-71

音声スクリプトを記載

True or false?

1. Emily is planning to give a presentation about her hometown.
2. Mr. Jones suggests cooking something Japanese like *okonomiyaki* on their school's Culture Day.

〈解答〉

1. False
2. True

Task 1

〈英語での指導案〉

Give the students time to read and think about the three questions in Task 1. Have them discuss their answers in pairs, and call on a few of them to share their answers with the class.

OK, class. Let's move on to Task 1. Answer the three questions about the model dialog on page 22. Take a couple of minutes to read the questions and think about your answers. (Now discuss your answers with your partner.)

Task 2

〈英語での指導案〉

First, give the students time to think about the three questions in Task 2. Direct their attention to the model dialog and Basic Expressions on page 22. Then have them work in pairs to ask each other the questions.

Now let's move on to Task 2. First, I'm going to give you three minutes to read the questions and think about your answers. You can use the model dialog and Basic Expressions on page 22 to help you if you like. Then you're going to work with your partner to practice asking and answering the questions.

Goal

〈英語での指導案〉

英語での指導案を記載

Have some of the students tell the class about the school's Culture Day. Encourage questions and comments from other students.

Let's move on to the Goal activity. Tell the class about the school's Culture Day. Use the Example on page 23 and your answers in Task 2. After you have told the class about the school's Culture Day, the other students are going to ask you some questions to get some more information, so everyone, think of some questions to ask!

〈解答例〉

I'd like to put on a *bonodori* dance performance with my classmates for our Culture Day. We could bring *yukata* from home and dance to traditional Japanese music. *Bonodori* is not difficult to learn, so I could teach it to others. I think it might be fun to dance together wearing *yukata*.

TRY

〈英語での指導案〉

Give the students time to think about the question, and then have them practice asking and answering it in pairs.

OK, let's change partners. Think about the question in the Try section — What school event do you look forward to most? Why? — and then practice asking and answering it with your partner.

〈別解例〉

I look forward to the sports festival most because we get to know each other better by practicing together. I like competing with other teams, too.

See page 121 Useful Expressions

Task 1

Read the dialog on p. 22, and fill in the chart.

CD 1-73

① What is Ken's first suggestion?	He suggests asking Emily to give a presentation about her hometown
② What does Mr. Jones think of Ken's first suggestion?	He thinks that it might be too much work for Emily
③ What does Nana say they'll need to do?	She says they will need to go shopping in advance

Task 2

Answer the questions below. Then practice asking and answering them with your partner.

CD 1-74

Q1 What would you like to do for your school's Culture Day?



[解答例]

I'd like to have an *origami* workshop

解答例を朱字で記載

Q2 What would you do in the activity you suggested?



I'd show everyone how to make *origami*

Q3 Why did you suggest this activity?



I'm good at making things with paper

Goal

Interaction/Presentation (⇒ pp.102-103)



Tell the class about what you wrote in Task 2. Other students should ask questions.

Example

For our Culture Day, I'd like to have an *origami* workshop. I think that *origami* is a great activity that everyone can enjoy. I'd bring some beautiful paper from home and show everyone how to make *origami*. I'm pretty good at making things with paper, and I'd love to teach our exchange students how to do it. It would be fun to display their *origami* afterwards.

Check list

☐ Accuracy ☐ Structure ☐ Content (⇒ p.127)

CD 1-77

TRY What school event do you look forward to most? Why?

— [解答例] I look forward to our school trip most because I can spend three days with my friends and teachers and visit many interesting places

Lesson 5

論理・表現Ⅲ Teacher's Book 内容見本

Smart agriculture

See page 95 Useful Expressions

〈音声スクリプト〉
Listen to the recording and answer the True or False questions that follow.

Passage script → p.101

Questions

1. The Netherlands is a good example of the successful use of smart agriculture.
2. The export value of the Netherlands' agricultural products in 2020 was the highest in the world.

CD②-2

Listening Quiz Q1. True Q2. False

CD②-3~4/5 (Faster)

Read the dialog between Meg and Ken. They are talking about the news article below about smart agriculture.

Ken: Hi, Meg. Look at this interesting article I found about smart agriculture.

Meg: Smart agriculture? What's that?

Ken: It means using modern technologies like AI to make farming more efficient. For example, AI can use data from soil sensors to automatically adjust the amount of water that crops are given. This kind of innovative technology will be a real game changer for agriculture!

Meg: I'm sure it will. But won't you feel sad to see traditional farming practices disappear?

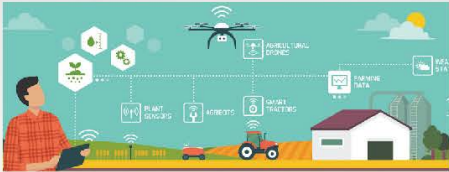
Ken: Well, maybe, but new technology will make farmers' lives much easier.

CD②-6/7 (Faster) / 8 (英Ver.)

指導用音声 CD トラック番号
英 Ver は英国式発音 Version を表します。

Smart Agriculture City

By Ueno Aya,
MINAMI NEWS
July 7, 2023 | Japan,
agriculture, technology,
aging society



Minami City—The city government has started what it calls a “Smart Farm Project” to respond to climate change and the severe labor shortage in agriculture. “By making full use of new technologies such as artificial intelligence (AI) and the Internet of Things (IoT), smart agriculture makes farming more efficient and increases crop production,” a city spokesperson said.

Farmers' average age in Minami City

Year	Average age
2002	49.9
2007	53.1
2012	55.4
2017	58.6
2022	59.9

- CAN-DO
- A. Speak (Interaction)** You can share your ideas about smart agriculture with your classmates.

B. Speak (Presentation) You can give a 1-minute presentation about smart agriculture.

C. Write You can write about 90 words on whether smart agriculture will become common in Japan.

CD②-9

Task 1 Answer the questions below and complete the chart. Then compare your answers with your partner's.

About the dialog

(1) How does Ken explain smart agriculture?

He says it means using modern technologies like AI to make farming more efficient.

問題解答例

(2) How can AI use data collected by soil sensors?

(AI can use data from soil sensors) to automatically adjust the amount of water that crops are given.

(3) How does Ken think new technology will change farmers' lives?

He thinks it will make their lives much easier.

About the news article

① When was this article published?	July 7, 2023
② Why has the city started the Smart Farm Project?	To respond to • climate change • the severe labor shortage in agriculture
③ According to the city spokesperson, what changes will smart agriculture bring about?	• (It will) make farming more efficient. • (It will) increase crop production.

CD②-10

Task 2 Think about the following question and share your ideas with your classmates. Use the article and table on page 36 to help you.

What are the advantage(s) and disadvantage(s) of smart agriculture?

Advantage(s)	• Needs less human labor • Raises food sufficiency	• Easy to control crop quality
Disadvantage(s)	• Requires some IT skills • Machines may break down.	• Machines and technologies cost a lot.

Hints less human labor / control crop quality / food sufficiency / IT skills / cost ... etc.

Your ideas

Smart agriculture may solve the labor shortage in agriculture, but acquiring the machines and other IT tools needed will cost a lot of money. I think it will take some time, therefore, for smart agriculture to become common.

Other students' ideas

The machines and IT tools needed for smart agriculture will certainly cost a lot, but they will pay for themselves in the long run. Moreover, smart agriculture will attract young people who are familiar with IT tools.

Task 3 Read Ken's essay on the following topic: Do you agree that smart agriculture will become common in Japan in the future?

I think smart agriculture will become common in Japan in the future for two reasons. First, the farming industry in this country faces a serious labor shortage. If machines can take over much of the work that farm workers currently do, the problem will be solved. Second, smart agriculture is more eco-friendly than traditional farming. For example, AI can use big data to calculate the minimum amount of pesticide needed to treat a particular area. Such measures will minimize the damage caused by farming, making farming much more sustainable.

Now follow the steps below to prepare to write an essay on the same topic as Ken's.

① Write down as many reasons as you can think of for agreeing or disagreeing.

Agree	Disagree
e.g. Japan's farming population is growing older.	e.g. Machines are expensive.

Hints attract young people / increase agricultural productivity / balance work and private life / require specialized knowledge ... etc.

② Share your ideas with your classmates. Write down any interesting ideas they come up with.

- Smart agriculture will change the image of farming, so it will attract more young people.
- Introducing new technologies is difficult for people without specialized knowledge, so it would be a great burden on farmers.

③ Decide whether you agree or disagree, and then write down two ideas to support your position. Make sure your sentences include details or examples.

Your position: Agree / **Disagree**

- The machines needed for smart agriculture cost a lot of money, and not every farmer will be able to afford them.
- Japan's farming population is growing older, and many farmers will be reluctant to use modern technologies.

Task 4 Use the information on page 36 and the notes on page 38 to write about 90 words on the same topic as Ken's.

I do not think smart agriculture will become common in Japan in the future for two reasons. First, the machines that are needed cost a lot of money. Many farmers in Japan are self-employed and operate only small businesses, so they will not be able to afford to buy or rent expensive machines. In addition, Japan's farming population is growing older, and I am sure many farmers would rather use their own experience than rely on modern technologies. For them, growing crops is something that should be done with the hands, not with machines.

英作文解答例



TRY Give a presentation to your classmates about the essay you have written.

CAN-DO Self-review

	Excellent (^o^)	Good (^_^)	Need to improve (>_<)
A. Speak (Interaction)	スマート農業について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	スマート農業について、時々英語にミスはあるが、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有することができた。	スマート農業について、自分の考えを伝えたりクラスメートの考えを理解したりすることができなかった。
B. Speak (Presentation)	スマート農業について、適切な英語を使い、1分で発表することができた。	スマート農業について、時々英語にミスはあるが、1分で発表することができた。	スマート農業について、発表することができなかった。
C. Write	適切な英語を使い、スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、90語程度で意見を書くことができた。	時々英語にミスはあるが、スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、90語程度で意見を書くことができた。	スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、意見を書くことができなかった。

付属データ DVD-ROM：教科書を活用するための豊富なデータを収録

※教授用データの一部は、弊社 HP からダウンロードによってご用意する場合もあります。

収録データ一覧

収録データ	形式	Ⅱ	Ⅲ	補足
01 教科書紙面 PDF	PDF	○	○	
02 Teacher's Book 紙面 PDF	PDF	○	○	
03 プレゼンテーション用スライド	Power Point	○	○	Google スライド形式も追加でご用意！
04 本文	Word	○	○	教科書紙面の Word データ
05 解答例	Word	○	○	教科書の各活動の解答例
06 音声スクリプト	Word	○	○	教科書掲載のリスニング問題の音声スクリプト
07 本文和訳例	Word	○	○	教科書掲載のモデル文や例文の和訳
08 提出シート	Word	○	○	解答あり／なしの 2 種類
09 ディクテーションシート	Word	○	○	各課のリスニング問題のスクリプトをディクテーション用に加工したシート
10 定期考査用リスニング問題	Word	○	○	各課のテーマに関連する True/False 問題 ※音声は指導用 CD に収録
11 定期考査用問題	Word	○	○	数課分をまとめた定期考査用のテスト
12 確認テスト	Word	○	○	各課の学習内容の理解を確認する小テスト
13 文法テスト	Word	○	—	各課の文法事項の理解を確認する小テスト
14 暗唱例文集	Word	○	△	Ⅲは Standard Part 1 のみ用意
15 文法事項配付シート	Word	○	△	Ⅲは Standard Part 1 のみ用意
16 ワークブック・活用ノート	Word	○	○	準拠教材の本文・解答 Word データ
17 観点別評価など	Word Excel PDF	○	○	年間指導計画案 観点別評価基準例・観点別評価集計シート 教科書の特色
18 Can-Do リスト	Excel	○	○	各学年における 4 技能 5 領域別学習到達目標
19 指導手順案	Word	○	○	教科書本課の指導手順案
20 ルーブリック評価表	Excel	○	○	各課に対応したルーブリック評価表
21 ルーブリック評価表(英語版)	Excel	○	○	20 の英語版
22 Additional Activity シート	Word	○	—	追加活動を行う際のワークシート
23 画像データ集	PDF	○	○	教科書掲載の写真・イラストをまとめたデータ
24 リテリングシート	Word	○	—	教科書掲載のモデル会話文を使ったりテリング用シート
25 ディクトグロスシート	Word	○	—	各課の内容に関連したディクトグロス活動のためのシート
26 Useful Expressions	Word	○	○	巻末 Useful Expressions の語句シート
27 表現活動シート	Word	○	—	解答欄、メモ欄などを示したシート
28 Google フォーム / Microsoft Forms	Excel	○	—	フォーム(各課の文法確認テスト)へのリンクをまとめた Excel

付属 DVD-ROM：教科書を活用するための豊富なデータを収録

※教授用データの一部は、弊社 HP からダウンロードによってご用意する場合もあります。

レッスンの内容理解を深めるためのさまざまなデータをご用意しています。



データ
サンプルは
こちら！

①教科書紙面 PDF

Let's speak about...

Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

Nana: Hi, Ken. We're thinking about what to do for our school's Culture Day. Do you have any good ideas?

Ken: Well, we could ask Emily to give a presentation about her hometown. That would be interesting.

Mr. Jones: Yes, but don't you think that it might be too much work for her? I'm not sure whether she would have time to prepare.

Ken: How about doing something together, like cooking, then?

Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.

Ken: Yes, I love *okonomiyaki*! Let's do that.

Nana: I agree, but we'll need to go shopping in advance!

Listening Quiz Q1. Q2.

Basic Expressions

- We're thinking about what to do for our school's Culture Day. (9)
- 「何をするか」は what to do で表すことができる。think about の自問(思)になっている。
- We could ask Emily to give a presentation about her hometown. (9)
- to do は 「～すること」。(10) に～するように読む。は ask + O + to do で表す。
- Don't you think that it might be too much work for her? (7)
- 「S が～すること」を表すのに that を用い、そのあとに SV を続ける。
- I'm not sure whether she would have time to prepare. (8)
- 「S が～するかどうか」を表すのに whether を用い、そのあとに SV を続ける。

③ Teacher's Book 紙面データ

Let's speak about...

(英語での導入例)

Have you ever been to any international exchange events? These events give you an opportunity to learn about different cultures, and you can also teach people from other countries about your own culture. What elements of Japanese culture would you like to introduce people to? Japanese cuisine, maybe? Or kimono? Or maybe even anime? We're going to read a discussion between Nana, Ken, and Mr. Jones. They're discussing what to do for their school's Culture Day.

(p.22 ポスターとメモに関する質問例)

- When and where is Minami High School's Culture Day going to be held? — It's going to be held on June 8th from 11 a.m. to 3:30 p.m. in Meeting Room 2 at Minami High School.
- Which of the activities listed in the notes next to the poster do you think would be the most interesting for exchange students? — I think exchange students would probably appreciate an anime-viewing session most.
- What is the main purpose of Minami High School Culture Day? — (It is) to get students together for cultural exchange.

(テーマ(国際交流・イベント)に関する質問例)

- Have you ever been to a cultural festival? — No, but I'd love to go to one if I had the chance.
- If you had to plan an activity for your school's Culture Day, what element of Japanese culture would you focus on? — I'd probably plan an activity to introduce Japanese food, such as sushi.
- Which foreign culture would you like to learn more about? — I'd like to know more about Indian culture, because I don't know much about it.

Model dialogues

Play the recording and have the students listen to it carefully. Then play it again, pausing for them to repeat each sentence. Direct their attention to the pronunciation. Explain any words or phrases you think they may not understand.

Listening Quiz

(英語での指導例)

Play the recording and have the students mark each sentence true or false. Check their answers.

OK, class. Let's work on the Listening Quiz. Listen to the sentences and mark each one true or false. You can just write a T or an F.

(音声スクリプト) (p.21)

True or false?

- Emily is planning to give a presentation about her hometown.
- Mr. Jones suggests cooking something Japanese like *okonomiyaki* on their school's Culture Day.

(新節)

- False
- True

②プレゼンテーションスライド

Let's speak about...

Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

Nana: Hi, Ken. We're thinking about what to do for our school's Culture Day. Do you have any good ideas?

Ken: Well, we could ask Emily to give a presentation about her hometown. That would be interesting.

Mr. Jones: Yes, but don't you think that it might be too much work for her? I'm not sure whether she would have time to prepare.

Ken: How about doing something together, like cooking, then?

Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.

Ken: Yes, I love *okonomiyaki*! Let's do that.

Emma: I agree, but we'll need to go shopping in advance!

①教科書紙面データ

教科書の紙面 PDF データを収録しています。

②プレゼンテーションスライド

教科書本文の提示、音声再生ができるプレゼンテーション用スライドデータです。板書代わりにご活用いただくことも可能です。※ PowerPoint に加えて Google スライド形式でもご用意。

③ Teacher's Book 紙面データ

教授資料に付属する Teacher's Book の PDF データです(解答例・スクリプト・英語での指導案等を掲載)。

④本文

EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced

Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange 本文

教科書 pp. 21-26

CAN-DO

A. Speak (Interaction)
Tell your partner about your school's Culture Day. You can use some of the expressions in the Basic Expressions section to help you.

B. Speak (Presentation)
Give a 40-second presentation to the class about your school's Culture Day.

C. Write
Write a personal statement of about 80 words as part of a volunteer activity application. You can use some of the expressions in the Basic Expressions section to help you.

Before you start...

1. Listen to the statements. Match the countries below with the photos.
a. Indonesia b. Kenya c. Colombia d. Turkey
Q1 _____ Q2 _____ Q3 _____ Q4 _____

2. Which of the products would you like to buy most?

Let's speak about...

Nana, Ken, and Mr. Jones are talking about the Minami High School Culture Day.

Nana: Hi, Ken. We're thinking about what to do for our school's Culture Day. Do you have any good ideas?

Ken: Well, we could ask Emily to give a presentation about her hometown. That would be interesting.

Mr. Jones: Yes, but don't you think that it might be too much work for her? I'm not sure whether she would have time to prepare.

Ken: How about doing something together, like cooking, then?

Mr. Jones: That's a great idea! All of you can try making something Japanese like *okonomiyaki*.

Ken: Yes, I love *okonomiyaki*! Let's do that.

Nana: I agree, but we'll need to go shopping in advance!

⑤解答例

EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced

Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange

解答 教科書 pp. 21-26

p.21

Before you start.

1. ☐ b ☐ d ☐ c ☐ a

2. (解答例)

- ・I'd like to buy some tea, because I drink black tea every day.
- ・I want to buy a lamp, because I love the color and design.
- ・I make a point of having flowers in my room, so I'd like to buy some of the flowers.
- ・I like the bright color and design of the batik shirts, so I'd like to buy one.

pp. 22-23

Let's speak about

[Listening Quiz]

1. False 2. True

[Task 1]

① He suggests asking Emily to give a presentation about her hometown.

② He thinks that it might be too much work for Emily.

③ She says they will need to go shopping in advance.

[Task 2]

(解答例)

Q1 I'd like to have an origami workshop.

Q2 I'd show everyone how to make origami.

Q3 I'm good at making things with paper.

[Goal]


(解答例)


I'd like to put on a *bonodori* dance performance with my classmates for our Culture Day. We could bring *yukata* from home and dance to traditional Japanese music. *Bonodori* is not difficult to learn, so I could teach it to others. I think it might be fun to dance together

⑥画像データ集

EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced

Part 1 Lesson 3





④本文

テストやプリント作成用のデータです。本課の文字データを収録しています。

⑤解答例

教科書の問題の解答例です。Task 2, Goal, TRY など自由度の高い活動には、適宜別解例も収録しています。

⑥画像データ集

教科書に掲載している写真・イラスト及びスライドショーの写真を課ごとにまとめています。

⑦確認テスト

Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange 確認テスト

教科書 pp. 22-23

1. Fill each blank with a suitable word. (2点×4)

(1) エミリーは日本語でプレゼンテーションをしました。
Emily () a () in Japanese.

(2) 新しいスマートフォンの使い方を教えてください。
Please show me () () use the new phone.

(3) 一緒に買い物に行くのはどうですか。
() () shopping together?

(4) あらかじめ正しい分量の小麦粉と牛乳を用意してください。
Prepare the right amount of flour and milk () ().

2. Complete the sentences to match the Japanese. (2点×4)

(1) We're thinking about _____ for Ken's birthday. (何を買うべきか)

(2) Let's ask Nana. _____ (ピアノを弾いてくれるように)

(3) I'm _____ Mr. Jones is in his office now. (〜かどうかはっきりわからない)

(4) What _____ this weekend? (〜がしたい)

3. Put the words in brackets in the most likely order. (3点×3)

(1) Let's talk [to / tomorrow / about / go / where].
Let's talk _____

(2) [everyone / that / I / can / think / I enjoy origami].
_____ enjoy origami.

(3) [swimming / at / I'm / good / pretty].

4. Look at the poster and the list and complete the sentences. (5点×3)

Minami High School Culture Day

An opportunity for students to get together for cultural exchange

June 8th
11:00 a.m. - 3:30 p.m.
Auditorium 2

☐ ask the exchange students to give presentations about their countries

☐ teach everyone how to make origami

☐ show the exchange students how to use traditional Japanese toys

☐ make some Japanese food

☐ have an anime-viewing session

☐ wear yukata

(1) The school's Culture Day will be held on _____ in _____

(2) They will ask the _____ talk about their countries.

(3) They will show the students from other countries how to play with _____

⑨定期考査用問題／リスニング問題

Part 1 Lessons 1-3

定期考査用問題

1. Change the verb to the appropriate form. (3点×5)

(1) I () not going to tell this secret to anyone at all. (be)

(2) Both of my grandparents () through great hardship in WWII. (go)

(3) You can avoid () the exam by turning in a report instead. (take)

(4) Have you ever () to any foreigners in English? (speak)

(5) Cars () with a navigation system are helpful to people driving on unfamiliar roads. (equip)

2. Fill each blank with a suitable word. (3点×5)

(1) ファミリーレストランでウェイターとして働くことは若者に人気のアルバイトです。
() as a waiter at a chain restaurant is a popular part-time job among the young.

(2) 校長は教育委員会からの指令に従うことを拒否した。
Our principal refused () the order from the Board of Education.

(3) 近頃、小学生は教科書のすべてを家に持ち帰る必要がない。
Nowadays, elementary school students () () () take all their textbooks home.

(4) 志願書は今月末までに大学に郵送されなければならない。
The application form () () () to the university by the end of this month.

(5) 検察はとうとうその容疑者が有罪であることを証明した。
The prosecution finally () () the suspect was guilty.

3. Put the sentences below into Japanese. (3点×5)

(1) What you should do first is go home and study for the test tomorrow.
家に帰って明日のテスト勉強をすることです。

(2) Please let me know by email whether or not you'll be here by tomorrow.
明日までに _____

(3) I should have left home a little earlier today to get to school in time.
私は学校に間に合うように _____

(4) The way Americans pronounce each word is quite different from that of the British.
_____ はイギリス人のそれとだいぶ違う。

(5) It is dangerous for children to walk around alone at night.

4. Put the words in brackets in the most likely order. (4点×5)

(1) その会社と契約することは国際的な貿易を始める第一歩になります。
[be / a contract / the first / that company / signing / will / with] step toward starting international trade.
_____ step toward starting

⑧文法テスト

Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange 文法テスト

1. Choose the appropriate word for each sentence. (2点×5)

(1) Do you want (to join / joining) a clean-up campaign?

(2) All the students in my class enjoy (to do / doing) sports after school.

(3) I'd like to suggest (to leave / leaving) right now.

(4) My family is planning (to visit / visiting) Hokkaido this summer.

(5) I told David not (to go / going) but he did.

2. Fill each blank with a suitable word. (3点×5)

(1) ナナとケンがジョーンズ先生に英語部の顧問になってくれるようにお願いした。
Nana and Ken asked Mr. Jones () () an assistant coach of their English club.

(2) 祖父の趣味は外国の硬貨を収集することだ。
My grandfather's hobby is () foreign coins.

(3) アメリカ人が日本で自動車の運転に慣れるのには数か月かかるだろう。
It takes some months for Americans to get used to () a car in Japan.

(4) エマは来週の国際フェスティバルが大成功すると確信している。
Emma is () () the international festival next week will be a great success.

(5) 地震のあと、私たちはいつ避難したらよいかわからなかったので教室にとどまっていた。
After the earthquake, we remained in the classroom as we didn't know () () evacuate.

3. Put the following sentences into Japanese. (4点×5)

(1) He stopped playing video games as his mother had come into his room.
彼は母親が部屋に入ってきたので _____

(2) One of Ryota's dreams is to guide tourists from overseas in English.
リュウタの夢の1つは _____ です。

(3) My father is in the habit of taking a walk every morning.
父は _____

(4) We've been wondering where we should raise money for charity.
私たちはチャリティーのためにどこでお金を集めるべきか考えています。

(5) It is doubtful whether our team will win the game or not.
_____ は疑わしい。

4. Put the words in brackets in the most likely order. (4点×5)

(1) 私はあなたがこのイベントを通して多くの異なる考え方を学ぶことを希望します。
I [will / that / learn / hope / you / many] different ways of thinking through this event.
I _____ different ways of thinking through this event.

⑦確認テスト

各課の内容を確認するためのテストです。教科書の本文や図表を使った問題も掲載。

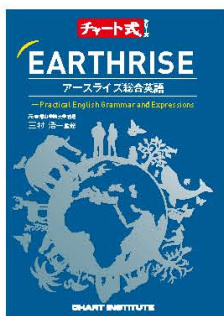
⑧文法テスト(Ⅱのみ)

各課で学習する文法事項に関連した文法のテストです。文法の定着に最適です。

⑨定期考査用問題／リスニング問題

3課ごとにまとめた小テストと各課のテーマに関連したリスニング問題です。

● EARTHRISE シリーズ 文法参考書のご案内 ●



11081

チャート式シリーズ

EARTHRISE

アースライズ総合英語

—Practical English Grammar and Expressions

元 帝塚山学院大学教授 三村 浩一 監修



参考書の
詳細は
こちら！

A5 判／632 頁／別冊解答 (80 頁)／暗唱例文集 (80 頁)／別冊 4 技能連携ハンドブック (80 頁)

数研テストマスター／別売音声 CD 完備

◆QR コードから以下の活動が可能！

文法解説動画の視聴／基本例文の音声再生／〈数研発音マスター〉を用いたスピーキング練習

◆チャート×ラボから Google フォーム／Microsoft Forms テストデータ (レディメイドタイプ) が
ご利用いただけます。

本書の特色

1. 文法を 4 技能に活かすことを大切に考えた参考書です

◆本編は、使用レベルを意識した〈2-Stage〉構成。

学年や目的に応じて必要な Stage を効率的に学べます。

◆別冊付録「4 技能連携ハンドブック」で、文法だけでなく、Speaking／Listening／Reading／
Writing の基礎を確認。4 技能を用いたさまざまな活動の下支えとなります。

⇒詳しくは p.72

2. チャート式シリーズのよさを存分に活かし、生徒さんの自学を応援する参考書です

◆視覚的な理解を促す図解やイラスト、イメージ図などを豊富にご用意。

◆ルールや形の理解だけにとどまらない、生徒さんの疑問に答えるコラムも満載。

◆QR コードから、気軽に例文音声や解説動画にアクセス。数研発音マスターで
スピーキング練習も可能。

3. 教科書 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced／Standard と連携しています

◆教科書の Key Expressions／Expressions Plus と扱う文法配列・例文が同じなので、
並行しての学習がしやすくなっています。

◆Key Expressions で学んだ文法事項を表現に活かすためのコラム Tips for Expression が、
文法と表現の橋渡しをします。

※本書は検定教科書「EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced／Standard」に併せて
改訂します。(改訂版は 2025 年 10 月発行予定)

参考書 First Stage 見本

First Stage

1 基本的な助動詞① — can / may / must

1-1 can (過去形: could)

can の中心的なイメージは「**実現可能**」。
そこから派生して、以下の意味が出てきます。

- 実現する能力を備えている → 「～できる」 **〔能力〕**
- 状況的に実現することが可能 → 「～できる」 **〔可能〕**
- ～である可能性がある → 「～でありうる」 **〔可能性〕**

能力・可能を表す

Ryo **can** run 50 meters in seven seconds. **〔能力〕**

Can I walk to the museum from here? **〔可能〕**

—Sure. It's only five minutes from here.

リョウは 50 m を 7 秒で走ることができる。
ここから博物館まで歩いて行きますか。—もちろん。ここからほんの 5 分ですよ。

能力を表す can: 「～できる」 (⇒53)

主語 (人やもの) に備わっている能力を表す。52 は「リョウに 50 m を 7 秒で走る能力がある」ことを表す。過去形は could。 (Op. 108)

This hall can hold up to 500 people. * up to → 「(最大) ～まで」
(このホールは 500 人まで収容することができます。)

否定文・疑問文は、次のようになる。否定形で **can not** と 2 語にしないこと。
(否定文) I **cannot/can't** read French, but I **can** speak it a little.
(私はフランス語は読めませんが、少し話せます。)

I **could not/couldn't** eat carrots when I was a child.
(私は子どものころ、ニンジンが食べられませんでした。)

(疑問文) Can you cook this fish?
—Yes, I **can**. I'm good at cooking.
No, I **can't**. I've never cooked fish.
(この魚を料理できますか? —はい、できます。料理は得意です。/
いいえ、できません。魚を料理したことがないのです。)

※ can は文頭に置いたり、強調したりする場合は /kən/ だが、それ以外 /kən/ と読む。発音する。

Tips Communication!

1 ◆ 「～できますか」と尋ねる場合

③ : 電車で隣に座った外国人男性に Do you speak English? と聞かれました。
なぜ Can you ～? ではなかったのでしょうか。

④ : 相手に「～できますか」と尋ねるときに、Can you ～? を使うと、失礼な印象
を与えることがあります。can は「能力」を表すため、Can you ～? を使うと
相手の能力をあらからせに思われることになり、失礼と感じられることがあるのです。
「英語が話せますか」は、Can you speak English? より Do you speak
English? を使うほうが、やわらかい印象を与えます。次の例も同様です。
Do you (△Can you) play the piano? (ピアノを弾けますか。)

⑤ 可能を表す can: 「～できる」 (⇒53)

能力とは関係なく、主語が置かれた状況から「～することが可能」という場合も
can で表せる。53 は距離の点から、「博物館まで歩くことは可能か」を尋ねている。
Can we meet again tomorrow? (明日また会えますか。)
Hurry up! The meeting starts at two. We **can't** be late.
(急いで！会議は 2 時から始まる。遅れるわけはいけません。)

⑥ be able to do 「～できる」

能力・可能を表すが、助動詞ではない。やや堅い表現で、現在形で can を使
うほうが普通。原則として、主語が (人) の場合に使う。
The students are **able to** (=can) use Wi-Fi anywhere on campus.
(学生はキャンパスのどこでも、Wi-Fi を使うことができます。)

Are you **able to** meet the deadline for the paper? —Certainly.
(論文の締め切り間に間に合わせることができそうですか。—もちろんです。)

⑦ 必ず be able to do を使う場合 (can が使えない場合)

① ほかの助動詞といっしょに使う場合。助動詞を 2 つ 並べて使うことはできない。
You'll **be able to** order the book online in two weeks.
(Xwill can) (2 週間後には、その本をオンラインで注文できます。)

② 完了形の場合。have/has + been able to do の形を使う。
We **haven't been able to** access the site for the last two days.
(ここ 2 日間、そのサイトにアクセスすることができていません。)

⑧ (be able to do) の否定形は、(be not able to do) または (be unable to do)。
使い書きを兼ねたが、can の否定口調を助けた客観的な表現として使われる。
I am **unable to** / am **not able to** accept the fact.
(私はその事実を受け止めることができません。)

使用レベルを意識した

First Stage／Second Stage
の 2-Stage 構成

参考書 Second Stage 見本

Second Stage

2 should のその他の用法

should の中心的なイメージは「**当然進むべき方向**」です。
そこから派生する意味は、「当然そうすべきである」 (義務)。
「当然そのはずだ」 (勧告)

ここで、このイメージと関連づけて学んでいきましょう。

a) that 節中で使われる should

The chairperson **suggested** we **should** have another meeting next week. 91

It is **necessary** that Mr. Bush **should** have an operation. 92

It is **surprising** that she **should** know nothing about the plan. 93

91 議長は来週また会議をすることを提案した。
92 ブッシュ氏は手術を受けることが必要です。
93 彼女がその計画のことを何も知らないなんて驚きだ。

① 提案・要求などを表す動詞に続く that 節中で (⇒91)

「～するように (提案する、要求する)」といった意味を表す。提案・要求などを表す動詞との結びつきから「当然そうすべきだ」という意味合いを含む。

● 提案・要求などを表す動詞

suggest / propose (提案する), demand / request (要求する), order (命令する), recommend (勧める), advise (忠告する), etc.

He **demand**ed that the bus driver **should** apologize for his rudeness.
(彼はバス運転手に、失礼をわびるよう求めた。)

② should を省略して、動詞の原形を使うことも多い。主語が 3 人称単数でも原形になる。 (Op. 940)

The doctor **recommended** that my mother **cut** down on sugar.
(医師は母に糖分を減らすように勧めた。)

③ 上の枠内に準じた動詞でも、提案・要求以外の意味の場合は、that 節中で should や動詞の原形を使うべくよい。
※次の文の suggest は「提案する」の意味。
I'm not suggesting (that) you **are** responsible for the accident.
(その事故の責任があなたにある、と言っているのではありません。)

④ 必要性・重要性などを表す形容詞に続く that 節中で (⇒92)

「～することが必要だ」といった意味を表す。必要性・重要性などを表す形容詞との結びつきから「当然そうすべきである」という意味合いを含む。

● 必要性・重要性などを表す形容詞

necessary (必要), important (重要), essential (不可欠), urgent (急務), desirable (望ましい), proper (適切), etc.

It's **important** that you **should** speak clearly in an interview.
(面接では、ハキハキと話すことが重要だ。)

⑤ should は省略して、動詞の原形を使うことも多い。
92 → It is **necessary** that Mr. Bush **have** an operation.

⑥ (be) での原形、(英) での should + 原形が普通であったが、最近では (米) でも (should + 原形)、(英) でも原形が使われるようになっており、(米) (英) の差はあまりないと考えよう。

⑦ 感情や主観的判断などを表す形容詞・名詞に続く that 節中で (⇒93)

この should には、「～だ[～する]なんて」という意外や疑いの気持ちが含まれている。

● 感情や主観的判断などを表す形容詞・名詞

strange (奇妙), surprising / amazing (驚くべき), lucky / fortunate (幸運), unlucky / unfortunate (不幸), natural (当然), a pity / a shame (残念), etc.

It's **a pity** that Emily **should** be unable to come to tomorrow's party.
(エミリーが明日のパーティーに来れないなんて残念だ。)

It's **natural** that you **should** be nervous in front of a lot of people.
(大人数の前であなたが緊張するのは当然です。)

⑧ 「～だなんて」といった感情を伴わず、客観的事実として言う場合、**should** は使われない。また、この ⑧ の用法で動詞の原形は使われない。
93 → It is **surprising** that she **knows** (Xknow) nothing about the plan.
(彼女がその計画のことを何も知らないのは驚きだ。)

⑨ 「～したなんて」と過去 (あるいは過去より前) のことについて述べる場合は、(should + have + 過去分詞) で表す。
It was **unfortunate** that my brother **should have broken** his leg.
(兄が脚を骨折したとは不幸だった。)

4 技能につながるコラム：
Tips for Communication/
Writing/Reading/Expression
日常で使われる英語と文法をつなげる
コラム：REAL ENGLISH など
ほかにも興味深いコラムが満載

ネイティブの感覚

「命令文＝命令」とは限らない！

命令文は、相手に対して指示などをする強い表現ですが、必ずしも「命令」の意図があるわけではありません。それが使われている状況や話し手と聞き手の関係などによって、その意味合いは変わってきます。

たとえば、以下のように勧誘や助言・注意などを表す場合、初対面の人や目上の人に命令文を用いても、失礼にはなりません。

- ① 相手への誘いとわかるとき (家や店に客を迎える場合など)
Come on in. / Take a seat. (お入りください。/ おかけください。)



文法学習用テキスト



EARTHRISE English Grammar in 33 Stages
(33 アースライズ英文法)
EARTHRISE English Grammar in 24 Stages
(24 アースライズ英文法)
EARTHRISE English Grammar in 22 Stages
(22 アースライズ英文法)

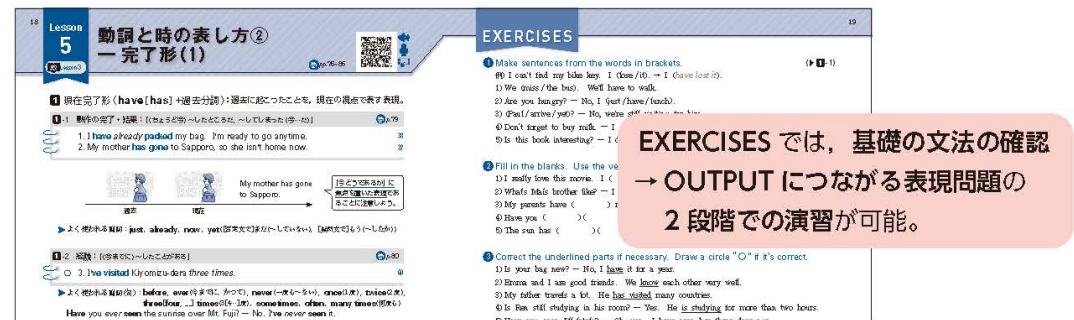
生徒用別冊解答編付／教授用資料完備／数研テストマスター完備

◆QRコードから以下の活動が可能！

例文の音声再生／〈数研発音マスター〉でスピーキング練習／参考書の一部紙面の参照

◆チャート×ラボから授業用板書スライドデータ (PowerPoint／Google スライド)、Google フォーム／Microsoft Forms テストデータ (レディメイドタイプ) がご利用いただけます。

本課(『33 アースライズ英文法』)



EXERCISES では、基礎の文法の確認
→ OUTPUT につながる表現問題の
2 段階での演習が可能。

〈参考書 別冊付録〉 4 技能連携ハンドブック ■ A5 判 (80 頁)

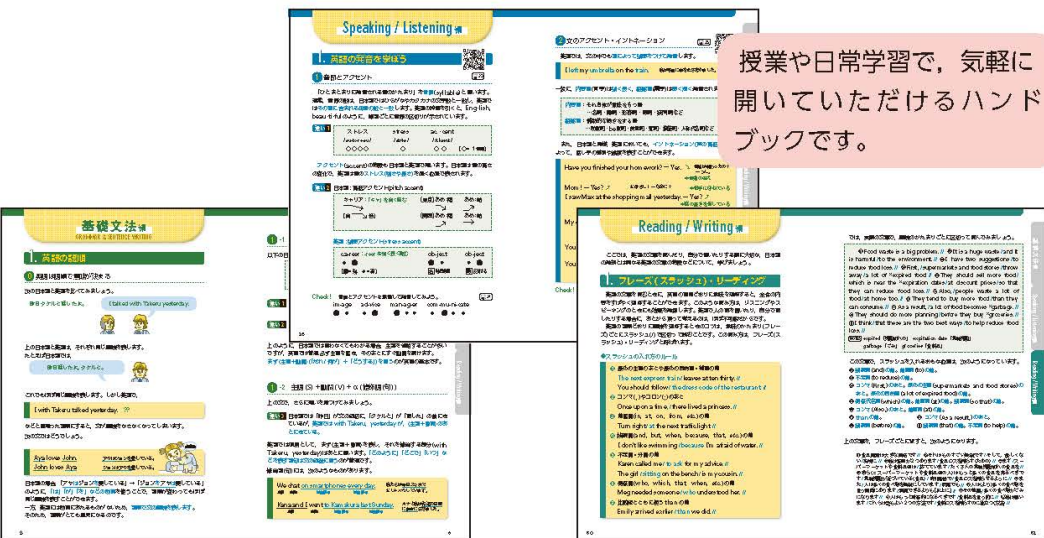
(収録内容)

〈基礎文法編〉：英語の語順／英語をつくる部品一品詞と句・節

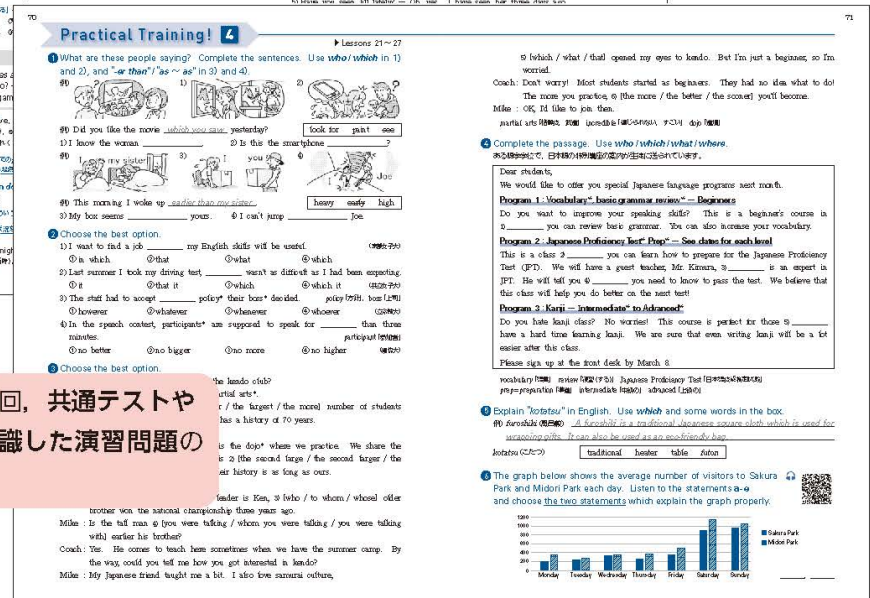
〈Speaking／Listening 編〉：英語の発音を学ぼう／場面に合った表現を使おう (フォニックス・インフォーマル)／機能別表現リスト など

〈Reading／Writing 編〉：パラグラフの構成・展開パターン／英語の発想で文を書こう／英語の句読法／手紙・メールの書き方 など

授業や日常学習で、気軽に
開いていただけるハンド
ブックです。



本課数レッスンに 1 回、共通テストや
資格・検定試験を意識した演習問題の
ページをご用意。



4 技能演習 Practical Training! (『33 アースライズ英文法』)



Workbook for EARTHRISE English Grammar in 33 Stages
(アースライズワーク 33)

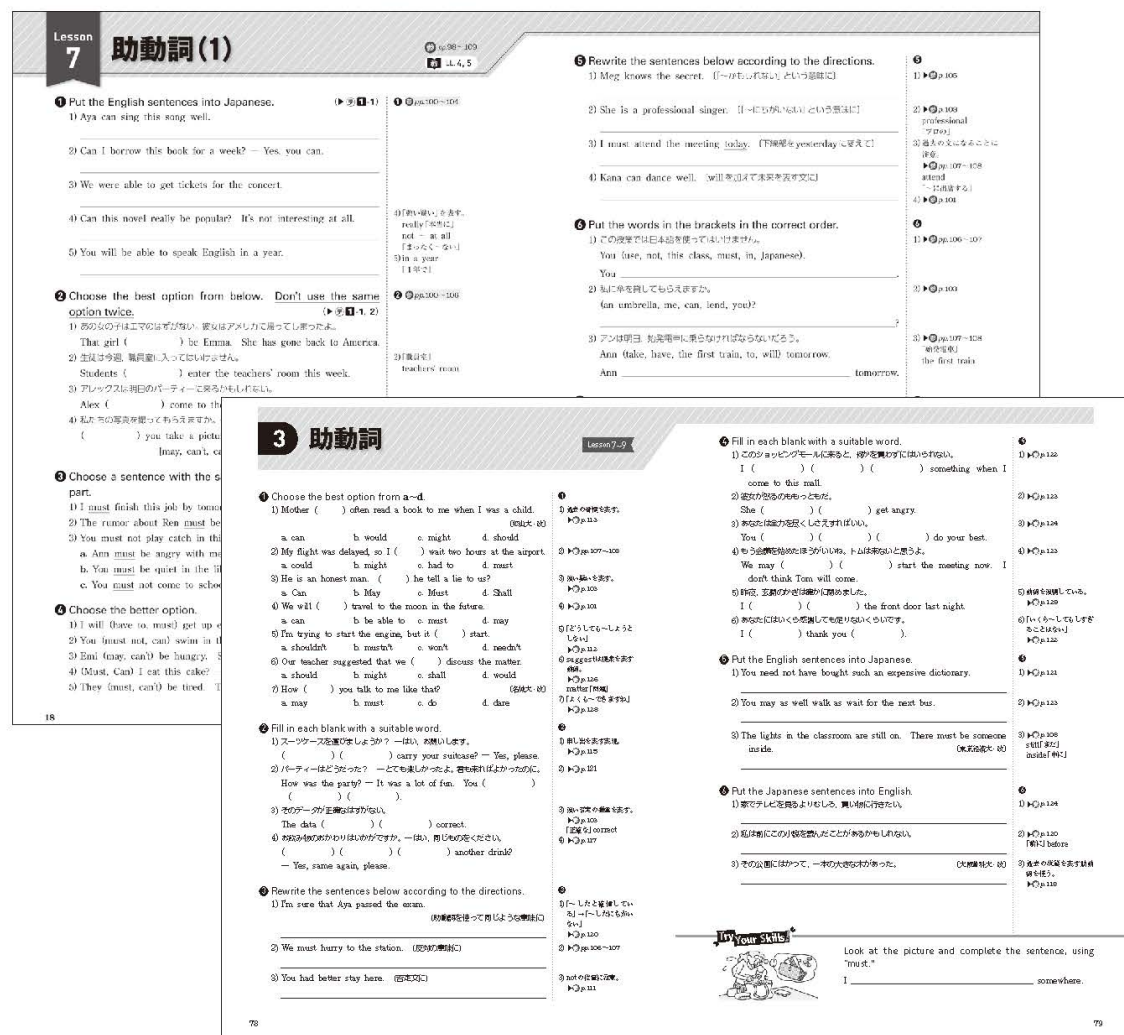
Workbook for EARTHRISE English Grammar in 24 Stages
(アースライズワーク 24)

Workbook for EARTHRISE English Grammar in 22 Stages
(アースライズワーク 22)

文法の基礎の定着を第一の目標とした豊富な反復練習問題。さらに『アースライズワーク 33/24』では、大学入試問題を含む発展問題も収録。

生徒用別冊解答編付／数研テストマスター完備

本課(『アースライズワーク 33』〈基本問題〉)



本課(『アースライズワーク 33』〈発展問題〉)

※テキスト、ワークブックは検定教科書「EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced / Standard」に併せて改訂します。(改訂版は2025年10月発行予定)



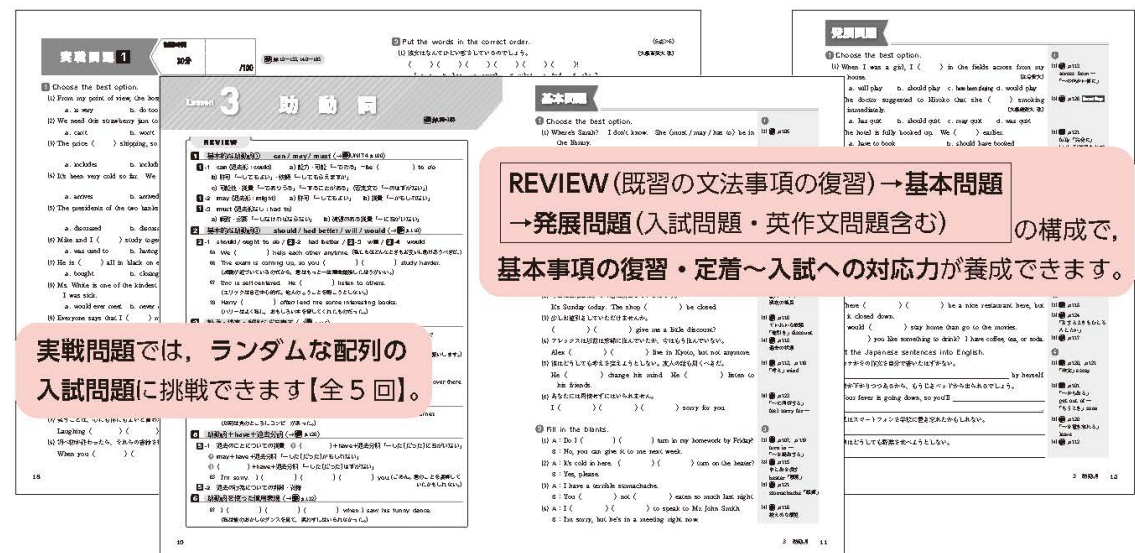
EARTHRISE 英語総合演習

17 Lesson + 実戦問題 5 回 / B5 判・80 頁 / 別冊解答付 (64 頁)

◆文法 2 巡目ワークブックとして(参考書の参照ページ付き),
参考書を再度活用しながら演習できます。

◆充実した側注，詳しい別冊解答で，自学自習にも最適です。

◆チャート×ラボから<問題+解答・解説>のデータがご利用いただけます。



実戦問題では、ランダムな配列の入試問題に挑戦できます【全5回】

EARTHRISE 英語総合演習 実戦ランダム編

15 Lesson / B5判・64頁／別冊解答付(48頁)

◆ 3 巡目の文法総復習の問題集として(参考書の参照ページ付き)、
参考書の重要項目を確認できます。

◆参考書数章ごとのランダム→完全ランダムの二部構成。入試問題中心の演習。

◆充実した側注，詳しい別冊解答で，自学自習にも最適です。

◆チャート×ラボから＜問題＋解答・解説＞のデータがご利用いただけます。



参考書の数章ごとの部分ランダム
→参考書の重要項目を確認しながら
確実な文法の定着につなげます。

全範囲から出題の完全ランダム
→入試本番同様の完全ランダム出題
で、より実戦的な力を養います。



活用ノート(授業用ノート)Ⅱ

B5判 72頁／定価 363円

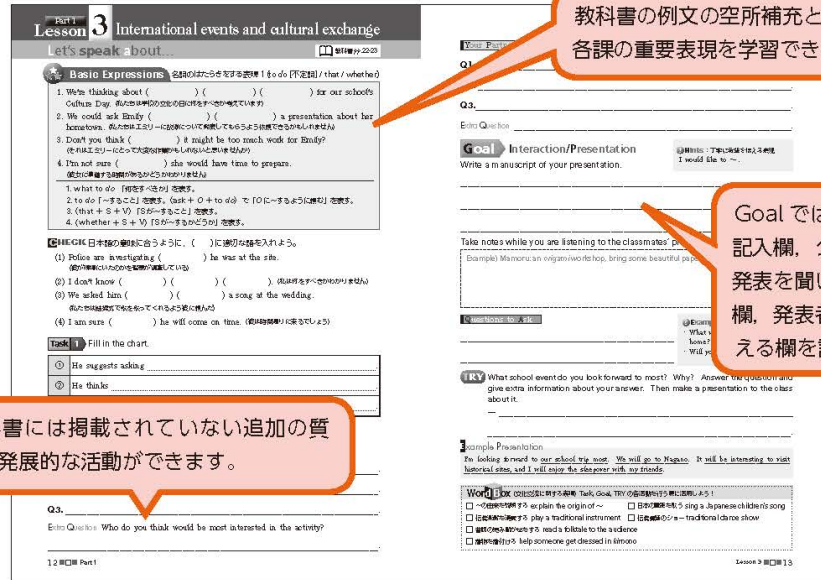
表記の金額はすべて税込価格です。

教科書完全準拠の書き込み式ノートです。授業用のノートとしてお使いいただけます。ヒントや語句、+αの活動も掲載し、発展的な表現活動にも取り組みます。配付用解答例をダウンロードできます。



詳細はこちら！

本課 1-2 ページ目 : Let's speak about... 教科書の Let's speak about ... に対応しています。

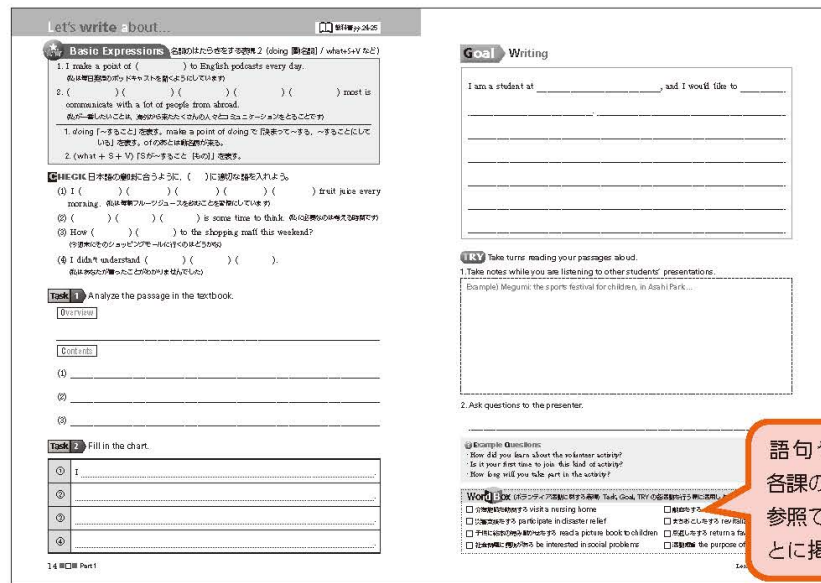


教科書の例文の空所補充と確認問題。各課の重要表現を学習できます。

Goal では、発表原稿の記入欄、クラスメートの発表を聞いてメモをとる欄、発表者への質問を考える欄を設けています。

教科書には掲載されていない追加の質問。発展的な活動ができます。

本課 3-4 ページ目 : Let's write about... 教科書の Let's write about ... に対応しています。



語句や表現のリスト。各課の活動を行うときに参照できます。見開きごとに掲載しています。

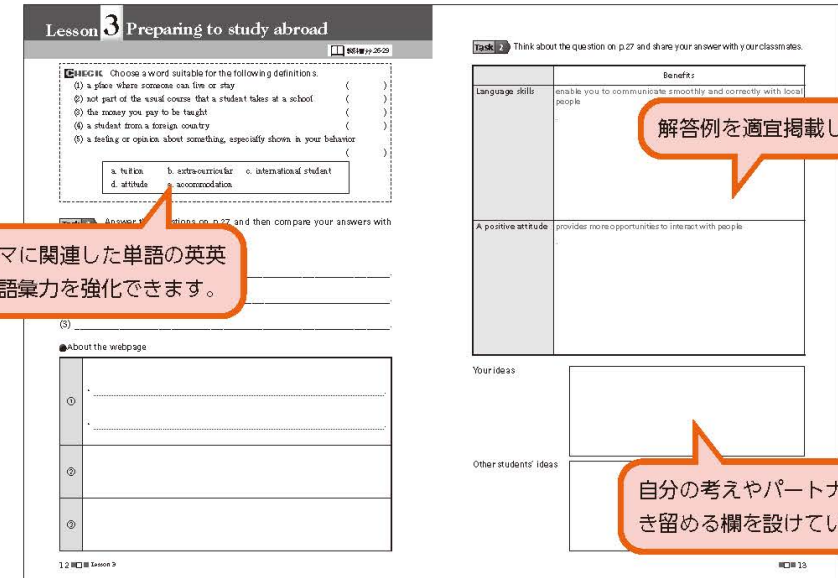


活用ノート(授業用ノート)Ⅲ

B5判 64頁／定価 363円

教科書完全準拠の書き込み式ノートです。授業用のノートとしてお使いいただけます。ヒントや語句、+αの活動も掲載し、発展的な発信活動にも取り組みます。配布用解答例をダウンロードできます。

本課 1-2 ページ目 : Task 1-2 教科書の Task 1-2 に対応しています。

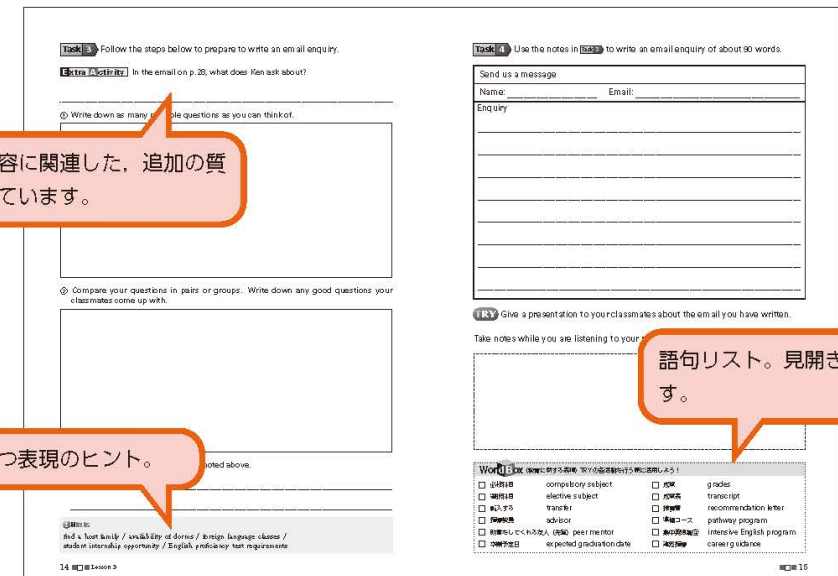


各課のテーマに関連した単語の英英定義問題。語彙力を強化できます。

解答例を適宜掲載しています。

自分の考えやパートナーの回答を書き留める欄を設けています。

本課 3-4 ページ目 : Task 3-4 教科書の Task 3-4 に対応しています。



教科書の内容に関連した、追加の質問を掲載しています。

活動に役立つ表現のヒント。

語句リスト。見開きで活用できます。

- ◆教科書各課末の What do you think? の解答欄は巻末にまとめて掲載しています。
- ◆Extra Activity の解答欄も掲載しています。

- ◆「はじめに」に対応した問題を巻頭に掲載しています。
- ◆Further Activities の解答欄も掲載しています。



ワークブック(復習用ワーク)Ⅱ

B5判 72頁／別冊解答(56頁)別梱包／

定価 682円／音声CD 価格 264円



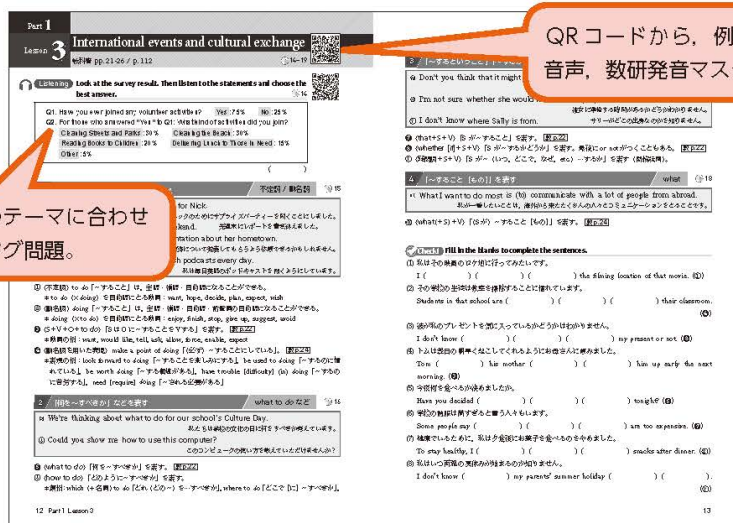
表記の金額はすべて税込価格です。

数研発音マスターにつき、p4をご参照ください。

体系的な文法・機能表現の学習と表現活動に取り組めるワークブックです。Part 3ではパラグラフライティングの演習ができます。また、巻末には入試問題を含む追加の演習問題を掲載しています。QRコードを介した音声再生、数研発音マスターに対応。別売音声CD 完備。

[Part 1, 2] 各課 1-2 ページ目：文法(機能表現)の解説と CHECK!

文法(機能表現)の解説と確認問題で教科書の表現を定着させます。



QRコードから、例文とリスニング問題の音声、数研発音マスターにアクセスできます。

レッスンのテーマに合わせたリスニング問題。

[Part 1, 2] 各課 3-4 ページ目：Practice A(練習問題)／Practice B(活動につながる問題)

Practice Aでは、練習問題を通して1-2ページ目で学んだ内容を確認できます。Practice Bでは、学んだ表現や文法を使いながら、活動につながる問題に取り組めます。

学んだ表現を使って英文を書き換える問題も出題しています。

短い会話を読み、内容に関する英文を完成させる問題に取り組めます。

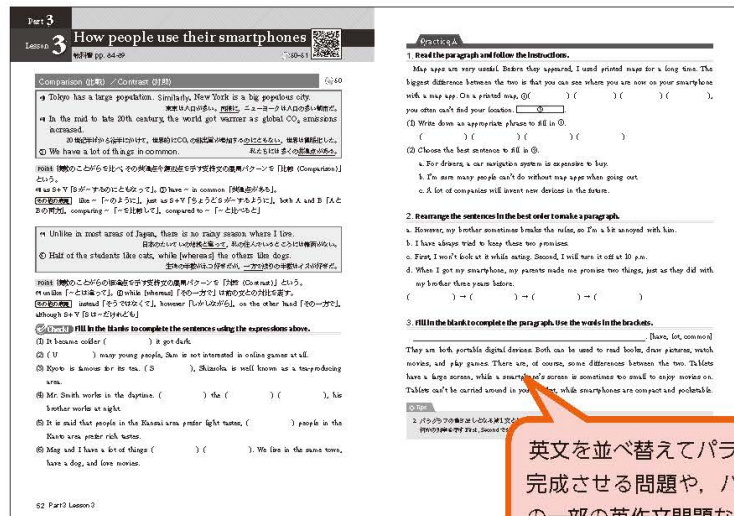
質問文を聞いてディクテーションし、自分の回答を考えて答える会話形式の問題。

図表などをもとに答える英作文問題。

総まとめの自由英作文問題。

[Part 3] 各課 1-2 ページ目：パラグラフの展開パターンの確認／Practice A(練習問題)

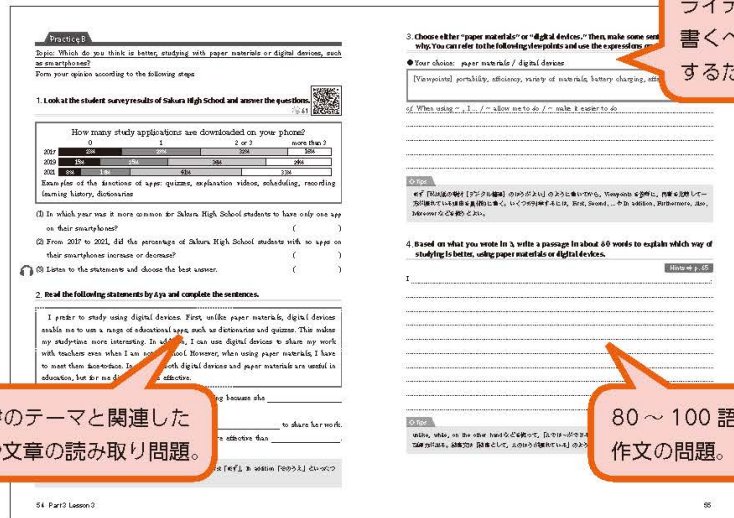
パラグラフの展開パターンや重要表現を確認し、練習問題に取り組みます。



英文を並べ替えてパラグラフを完成させる問題や、パラグラフの一部の英作文問題などを出題。

[Part 3] 各課 3-4 ページ目：Practice B(演習問題)

段階を追ってパラグラフライティングの演習を行うことができます。



教科書のテーマに関連した図表や文章の読み取り問題。

80～100語程度の自由英作文の問題。

・本課以外の要素として以下の内容を扱っています。

「はじめに」(パラグラフの展開パターンについての解説と設問)

「Hints for Writing」(自由英作文の参考表現とヒント)

「Further Exercises」(入試問題を含む、文法・機能表現の追加演習問題)



ワークブック(復習用ワーク)Ⅲ

B5判 48頁／別冊解答(40頁) 別梱包／税込定価 550円

教科書の内容の確認+入試演習ができるワークブックです。

本課：教科書の内容の確認・英作文(2頁×12レッスン)

教科書のトピックに関連する語いの確認問題。

教科書のTask 3の文章を掲載。内容に関する確認問題に取り組みます。

Lesson 5 Smart agriculture

Choose the best option to fill in the blanks.

① In some developed countries, companies are required to label () modified organisms.

a. genetically b. naturally c. manually d. naturally

② Smart farming uses () or chemical fertilizers to help plants to produce more.

a. pollution b. nutrition c. nitrogen d. supplement

③ Climate change has brought unexpected (), leading to water shortages and the world.

a. had b. storm c. disaster d. drought

④ The combination of smart agriculture and AI will help increase the () of food.

a. productivity b. probably c. mobility d. equality

⑤ There is a () of food that can support my family for a week in the refrigerator.

a. plenty b. part c. minority d. sequence

Practice

Write a essay on the topic "Do you agree that smart agriculture will become popular in the future?" and answer the questions.

① Agriculture will become common in Japan in the future for two reasons. One is that the country faces a serious labor shortage. If machines do the work that farmers currently do, the problem will be solved. Another is that smart agriculture is more eco-friendly than traditional farming. For example, we can use big data to calculate the minimum amount of pesticide needed for each area. Such measures will () the damage caused by pesticides, making farming much more sustainable.

② Among the four options below, select the one that is most similar to Mine's.

a. I believe smart farming will become normal because most Japanese farmers are concerned about the lack of people who could succeed them.

b. To me, smart agriculture helps reduce the number of fertilizers that are used on farms.

c. Smart agriculture makes it easier for foreign farmers to work in Japanese farms.

d. Smart farming is more sustainable than traditional farming in that it uses less pesticide.

② How can the labor shortage in the farming industry be solved?

③ Select the most suitable word to fill in the blank.

a. prefer b. minimize c. analyze d. maximize ()

④ Make a phrase to express a similar meaning to the underlined part, using the word in the brackets.

[what]

2. Read these essays and put the Japanese parts into English.

Situation A) You support smart agriculture.

I'm sure that スマート農業は農家の負担を減らすのに役立つ. For one thing, it can help solve the problem of labor shortage. For another, it can help farmers to control their growing conditions. This farming method is suitable regardless of bad weather. For another, smart farming helps to balance farming machines controlled by AI will replace farmers. AIが作業を代わりにします without needing to rest. For these reasons, 私はスマート農業を支持します in place of traditional farming.

① _____

② _____

③ _____

Situation B) You don't support smart agriculture.

Let me share my opinion about smart agriculture. I don't think it can solve the problems that 現在の農家が直面している. First of all, Japanese farmers are relatively old on average. Such farmers aren't usually familiar with IT. ～に彼らの多くは適応しないかもしれませんが new methods. In addition, it will cost them a great deal to introduce new machines and systems. There may be certain farmers スマート農業をきざらめなければならない due to the financial burden. For these reasons, I disagree with smart agriculture.

① _____

② _____

③ _____

トピックに関連する文章を読み、その中の一部の文について英作文(和文英訳)を行います。文章は各課でSituation A, Bの2種類を掲載。

〔Situation B〕You don't support smart agriculture.

Let me share my opinion about smart agriculture. I don't think it can solve the problems that ^⑤ 現在の農家が直面している. First of all, Japanese farmers are relatively old on average. Such farmers aren't usually familiar with IT. ^⑥ ～に彼らの多くは適応しないかもしれませんが new methods. In addition, it will cost them a great deal to introduce new machines and systems. There may be certain farmers ^⑦ スマート農業をきざらめなければならない due to the financial burden. For these reasons, I disagree with smart agriculture.

Extra Lesson(巻末): 大学入学共通テスト対策(1頁×12回)

Extra Lesson 5

Topic: Agriculture

You are reading an article in your school's newspaper. Choose the best option for each of items (1)–(5).

Agriculture is not just about producing food; it can also create "biofuels." It has been pointed out that biofuels are an environmentally friendly source of energy. They are derived from living organisms, such as plants and crops. For example, corn, sugarcane, and wheat can all be used to produce bioethanol, a kind of biofuel.

One advantage of biofuels is that they are a renewable energy source. We can continue to grow new plants and crops as long as we have fields for them, while fossil fuels will run out someday in the future. In addition, biofuels can be produced locally, reducing our dependence on imported fossil fuels.

A disadvantage, however, is that the fields used for biofuel production can also be used for food production. Therefore, the two types of production must compete with each other for land. Using too many fields to grow crops for biofuel production could lead to food shortages and higher prices. Also, there could be some negative impact on the environment, such as desertification through the large-scale use of land for growing crops.

Finding new ways of creating energy is vital for an environmentally friendly future, and it is clear that biofuels have many advantages. Nevertheless, there are still many problems to think about with regard to biofuels.

(1) The writer says that if the production of biofuels increases in the future, ().

a. local economies will improve b. the price of food may go up

c. carbon emissions will increase as well d. more living organisms will die

(2) According to the article, one advantage of biofuels is ().

a. they don't damage the natural environment

b. they can be used as a food source

c. they will never be completely used up

d. they are very cheap to produce

(3) Which best summarizes the writer's opinions about biofuels?

a. Biofuels should be promoted because they can be produced locally.

b. We should give up using biofuels as an alternative energy source to fossil fuels.

c. We should recognize the negative aspects of biofuels as well as the positive ones.

d. Biofuel production is more important than food production.

32 Extra lesson

共通テストでよく出題される形式の問題を扱っています。英文の内容は教科書各課のトピックと関連させています。

Challenge(巻末): 私大・国公立大二次試験対策(1頁×6回)

Challenge 2

1. Put the words in the most likely order.

(1) He (hatter / having / regret / studied / in / not) his junior high school days.

He _____ his junior high school days.

(2) I didn't (they / say / pay / to / what / whether) said.

I didn't _____ said.

(3) New Year's Eve (even / am allowed / stay up / when / kids / is / to) late.

New Year's Eve _____ late.

(4) When I woke up this morning, I (believe / that / had / asleep / I / realized) while studying last night.

When I woke up this morning, I _____ while studying last night.

2. Put the Japanese into English.

(1) 日本のアニメは他国の若者から高く評価されている。 _____ in other countries.

(2) 思うに、近い将来に人類の労働負担が軽減されるかもしれない。 _____

Human migration

(3) 夢を叶えたいと思っているより多い。 _____

3. AI is expected to replace humans in the workplace in various fields. What kind of jobs _____ cannot be replaced by AI? Write 40–100 words to explain your opinion. _____

41

語句整理→部分英作文・完全英作文→自由英作文と徐々に難易度を上げています。一部の問題は入試問題を使用しています。

各回の最後で80～100語程度の自由英作文の問題を扱っています。

・上記以外に以下の内容を扱っています。
「英作文のコツ・確認ポイント」(英作文を行う際のコツや、書いた後に確認すべき事項の解説)
「Hints for Writing」(巻末のChallengeの自由英作文で活用できるヒントや参考表現)

⑤エスビューアを搭載したデジタル教科書／副教材

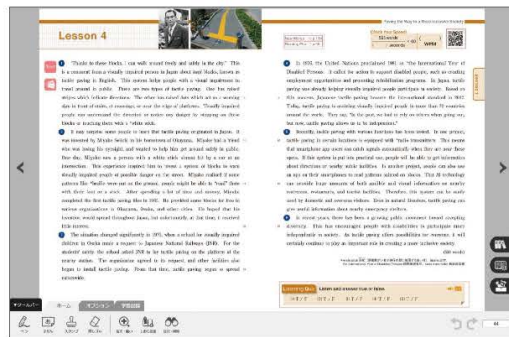


体験版はこちら！

エスビューアは、**Windows**、**iPad**、**Chromebook**に対応しています。

▶動作環境については弊社ホームページをご覧ください。

教科書はもちろん、参考書やグラマーテキストも**エスビューア**で利用できます。



基本機能

指 学 学+ 副

操作性を考慮した、**一目でわかるアイコンデザイン**を採用しています。

ペン、ふせん、スタンプ、拡大・縮小などの基本機能は、ツールバーから選択して利用できます。

(指導者用と学習者用の基本機能は共通です。)

スライドビュー（紙面の各要素を拡大表示）

指 学 学+ 副

ワンクリックで問題や解説などの紙面の要素を**拡大表示**できます（別のタブで開きます）。

「指導者用デジタル教科書（教材）」では**解答表示機能**のほか、**リスニング問題のスクリプト**などの追加要素も収録しています。

(拡大可能部分や追加要素は書籍および問題ごとに異なります)

生徒一人一人の学習を支援する機能を搭載！

スムーズな教材連携

指 学 学+ 副

デジタル教科書・教材（指導者用または学習者用）と**デジタル副教材**をお持ちの場合、教材間でスムーズに連携ができます。教科書からグラマーテキストや参考書の該当ページをすぐに表示できるなど、**すべての教材を最大限に活用**できます。



生徒一人一人の学習の記録

指 学 学+ 副

問題はワンクリックで**拡大表示**できます。

生徒は、その問題を解いて得た気づきを、ノート※¹やコメントと合わせて、**学習の記録として残す**ことができます。



先生と生徒をつなぐ宿題管理※²

指 学 学+ 副

生徒の**エスビューア**へ宿題を配信することができます。配信できるデータは「**教材の問題**※³」「**PDF**」です。生徒が提出した宿題の結果を確認し、コメントを書き込んで返却することもできます。



柔軟な設定ができる表示制御※²

指 学 学+ 副

先生は、生徒が利用する学習者用デジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている、「**答**」「**コンテンツ（解説動画）**」などについて、要素ごとに「**見せる／見せない**」を切り替えることができます。

※¹ 紙のノートやスライドビューへ書き込んだ内容を、写真やスクリーンショットとして記録できます。

※² 先生向け機能「宿題管理」「表示制御」は、「エスビューア 先生用サイト」で行うことができます。

※³ 生徒が所持しているデジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている問題です。

<収録コンテンツについて>

英語コミュニケーションⅢ：BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection Ⅰ・Ⅱのみ、COMETはSection Ⅰのみテキストビュー等のコンテンツを収録しております。
論理・表現Ⅲ：本課のみ、テキストビュー等のコンテンツを収録しております。

授業や自宅学習で役立つコンテンツを豊富に収録！

商品ごとに収録コンテンツの種類は異なります。詳細はラインアップ表をご覧ください。

※「学習者用デジタル教科書」には、教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

テキストビュー

新出語や本文をワンクリックで拡大表示できます。文字サイズや行間の調整も可能です。「**指導者用デジタル教科書（教材）**」「**学習者用デジタル副教材**」では本文の日本語訳の表示機能もあり、英語と日本語訳を同時に見せることもできます。**カラオケ**、**フェードイン**、**フェードアウト**、**虫食い**、**フラッシュ**の5パターンでテキストを再生できます。また、英語コミュニケーションの本文では、テキストの**フレーズ表示**にも対応しています（音声再生時はフレーズ間に生徒が復唱するためのポーズが設けられます）。会話文（一部を除く）では、任意の話者を無音にする**ロールプレイ再生**ができます。

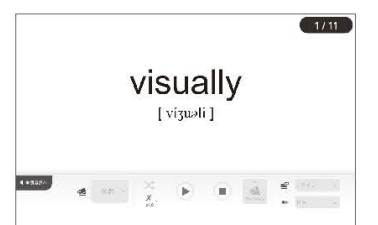
指 学 学+ 副



フラッシュカード（英コミ）

新出語や本文（一部を除く）は、フラッシュカード形式で再生することができます。**英語カード**、**日本語カード**のほか、**発音記号カード（新出語のみ）**、**英日併記カード**などを組み合わせて使用できます。

指 学 学+ 副



〈日本語訳表示について〉※新出語は、English Communication にのみ収録。

		指導者用デジタル教科書	学習者用デジタル教科書・教材	学習者用デジタル副教材
テキストビュー	新出語 ※	○	○	×
	本文	○	×	○
フラッシュカード	新出語 ※	○	○	×
	本文	○	×	×

スライドショー（英コミⅡ）

各レッスンの題材に関連する内容をスライドショー形式で紹介します。**音声**、**字幕それぞれで英語**、**日本語**、**OFF**の切り替えができます。授業の導入やリスニング活動に最適なコンテンツです。

指 学 学+ 副



その他、以下の機能も搭載！

☆本文解説動画（英コミ）

指 学 学+ 副

☆参考書表示（論表Ⅱ／グラマーテキスト）

教科書と関連する参考書の紙面を表示することができます。

指 学 学+ 副

☆速読トレーニング（英コミ）

教科書本文について、**WPM (Words Per Minute)** の計測をしたり、**目標WPM**を設定して速読に挑戦したりできます。

指 学 学+ 副

☆通訳トレーニング（英コミⅡ）

教科書の英文を使い、「英語から日本語」または「日本語から英語」に**即座に訳して話す練習**ができます。

指 学 学+ 副

英語

デジタル教科書／デジタル副教材

ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】
「デジタル教科書／デジタル副教材」は販売終了後、一定の利用期間の後に配信を停止いたします。
配信停止後はオンラインでの利用が不可となりますのでご注意ください。
各商品の利用期間（配信期限）の最新情報は、弊社ホームページ（<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/>）をご覧ください。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication Ⅱ	「BLUE MARBLE English Communication Ⅱ」 「BIG DIPPER English Communication Ⅱ」 「COMET English Communication Ⅱ」	54293	55,000 円	約 4.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication Ⅲ	「BLUE MARBLE English Communication Ⅲ」 「BIG DIPPER English Communication Ⅲ」 「COMET English Communication Ⅲ」	54297	55,000 円	約 2.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression Ⅱ	「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard」 「BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ」	54305	55,000 円	約 2GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression Ⅲ	「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard」	54308	55,000 円	約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM
■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○※3	○	—	—※4	—※4

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 英語コミュニケーションⅢについては、BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection Ⅰ・Ⅱにおいてのみ、COMETはSection Ⅰにおいてのみ、テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。
論理・表現Ⅲについては、本課においてのみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。
※3 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲには教材連携機能は含まれません。
※4 「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。

学習者用デジタル教科書

生徒一人一人の端末で使用する、制度化された「学習者用デジタル教科書」です。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーションⅡ	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication Ⅱ	4384176D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication Ⅱ	4384191D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication Ⅱ	4384206D12		約 0.5GB
英語コミュニケーションⅢ	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication Ⅲ	4384181D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication Ⅲ	4384196D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication Ⅲ	4384211D12		約 0.5GB
論理・表現Ⅱ	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced	4384221D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard	4384236D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ	4384251D12		約 0.5GB
論理・表現Ⅲ	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced	4384226D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard	4384241D12		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書
■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	—	—※2	—	—	—	—	—

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

学習者用デジタル教科書・教材

制度化された「学習者用デジタル教科書」と、各種「デジタルコンテンツ」がセットになった商品です。
「教材連携」「学習の記録」「宿題管理」「表示制御」機能に対応しています。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーションⅡ	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication Ⅱ	4384176D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication Ⅱ	4384191D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication Ⅱ	4384206D11		約 1GB
英語コミュニケーションⅢ	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication Ⅲ	4384181D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication Ⅲ	4384196D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication Ⅲ	4384211D11		約 1GB
論理・表現Ⅱ	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced	4384221D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard	4384236D11		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ	4384251D11		約 0.5GB
論理・表現Ⅲ	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced	4384226D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard	4384241D11		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○※3	○	—	○※4	○※4

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 表示される内容が「指導者用デジタル教科書(教材)」とは異なります。
英語コミュニケーションⅢについては、BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection Ⅰ・Ⅱにおいてのみ、COMETはSection Ⅰにおいてのみ、テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。論理・表現Ⅲについては、本課においてのみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。
※3 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲには教材連携機能は含まれません。 ※4 先生は「エスビュー先生用サイト」より設定する必要があります。

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)		データ サイズ
			書籍購入なし	書籍購入あり	
基礎からの 新々総合英語	学習者用デジタル版 新訂版 チャート式シリーズ GRAND EARTH 基礎からの新々総合英語	4311166D01	1,705 円	550 円	約 1GB
EARTHRISE	* 学習者用デジタル版 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語 — Practical English Grammar and Expressions	4311081D01	1,716 円	550 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 33 Stages	4336131D01	748 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages	4336136D01	704 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 22 Stages	4336141D01	649 円	330 円	約 0.5GB
BIG DIPPER	* 学習者用デジタル版 チャート式シリーズ BIG DIPPER ビッグ・ディッパー高校英語	4311107D01	1,628 円	550 円	約 1GB
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES 25 ディッパー英文法	4336227D01	671 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES 21 ディッパー英文法	4336327D01	649 円	330 円	約 0.5GB

* は2026年3月に改訂版を発行予定です。販売中のⅡ・Ⅲと併用いただく場合は、改訂版ではなく、内容がより運動している初版のデジタル副教材をおすすめいたします。
■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	○※2	○※2

※1 特別支援機能は含まれません。 ※2 先生は「エスビュー先生用サイト」より設定する必要があります。
(注)学習者用デジタル副教材をご採用の場合でも、紙の書籍ご採用時と同様にご採用校専用データをチャート×ラボからダウンロードできます。
(注)学校採用にて書籍をご購入の場合は、「書籍購入あり」価格(上記)で販売いたします(学習者用デジタル副教材のみ)。
ただし、書籍と学習者用デジタル副教材の使用者が同じ場合に限ります。

ー学習者用デジタル副教材を先生が拡大提示する場合についてー

- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有している場合は、先生による拡大提示用途としてご利用いただけます。
- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有していない状況(または一部生徒しか所有していない場合)で、先生による拡大提示用途としてご利用いただく場合は、ユーザーライセンスに加えて「提示用オプション」をご購入いただく必要がございます。

ご利用までの流れ、および動作環境等の詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。または営業員までお問い合わせ下さい。

指導用教材ラインナップ

※指導者用デジタル教科書(教材)はp.83に掲載。

書籍NO	書名	税込価格	仕様・掲載内容など
II 45405 III 45417	EARTHRISE English Logic and Expression II/III Advanced TEACHER'S MANUAL	II 24,200円 III 24,200円	① 本冊(教科書ページごとの詳細な解説) ② Teacher's Book ③ DVD-ROM1枚(教科書・TB紙面PDFデータ/授業用スライドデータ/本文・解答例等データ/準拠ワークデータ/各種テスト等を収録)
II 45605 III 45614	EARTHRISE English Logic and Expression II/III Advanced Teacher's Book	II 3,850円 III 3,850円	解答例・スクリプトなどを掲載。
II 58576 III 58582	EARTHRISE English Logic and Expression II/III Advanced TEACHER'S MANUAL PDFファイル版	II 6,600円 III 6,600円	DVD-ROM1枚 TEACHER'S MANUALの紙面PDFを収録。
II 58539 III 58551	EARTHRISE English Logic and Expression II/III Advanced 指導用CD	II 17,600円 III 16,500円	II 指導用音声CD(6枚) III 指導用音声CD(4枚)

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

先生のための会員制サイト **チャート×ラボ**

「チャート×ラボ」で何ができるの？

- ご採用の教材に関連したデータのダウンロードや、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマートフォンに配信することができます。
- 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル副教材の体験版をお試しいただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>

※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者(小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方)に限定しております。



数研出版コールセンター TEL: 075-231-0162 FAX: 075-256-2936



東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3
関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205
関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17
支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
返品に関する特約: 商品に欠陥のある場合を除き、お客様の都合による商品の返品・交換は受けられません。